

# 令和5年度 国立市 市民活動調査報告書

●地域を支える 93 団体



発行●国立市

## 令和5年度 国立市 市民活動調査報告書について

くにたち地域コラボは、国立市と社会福祉法人国立市社会福祉協議会の委託により、市民活動を応援する拠点として「くにたち地域活動支援室・プラムジャム」を運営しています。

2022年より新たに国立市の依頼を受け、市内で活動する多様な市民活動団体の調査を続けてきました。この度、その調査が完了しましたので、ここにご報告いたします。

本報告書では、国立市に拠点を置いて活動しているNPO法人（特定非営利活動法人）を中心として、くにたち地域コラボの登録会員以外にも対象を広げ、まちづくりから文化、子育て、環境、福祉まで活動分野ごとに合計93団体の活動内容等を紹介しています。

ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

この報告書に掲載した団体以外にも、国立市内では多くの団体やグループが精力的に活動されています。今後、こうした皆さまにも積極的にアプローチして関係性を築いていくとともに、あらためてホームページや交流会等を通じてご紹介していきたいと考えています。

地域のユニークな人材や意欲ある市民がよりいっそう活躍し、多くの市民活動団体と市との協働がさらに進んで、市民と共に暮らしやすい楽しいまちとなっていくように、本報告書をご活用いただければ幸いです。

2024年3月

制作・編集 くにたち地域コラボ

## まちづくり

NPO 法人 いきいき市民協働ネット	5
NPO 法人 国立市観光まちづくり協会	5
NPO 法人 くにたち富士見台人間環境キーステーション (KF)	6
NPO 法人 くにたち MATE	7
街 kadode 実行委員会	7

## 地域メディア

株式会社 グッドライフ多摩	8
国立歩記	8
国立人 まちの仕事さがし	9
✍️ コラム/特定非営利活動法人 (NPO 法人) について	9

## 学術・文化・芸術・スポーツ

NPO 法人 国立人文研究所	10
NPO 法人 現代朗読協会	10
NPO 法人 こどもの城合唱団	11
一般財団法人 中本達也・臼井都記念芸術資源館	12
一般社団法人 ACKT	12
i-ze (いーぜ)	13
音読療法協会	13
季節の手しごと倶楽部	14
くにたちエール	14
くにたち絵手紙の会	14
国立せいさく所	15
くにたちの暮らしを記録する会	15
国立本店	15
小鳥書房	16
梓水会 (しすいかい)	16
ドイツ語を学ぶ会	16

まちづくり

地域メディア

学術・文化・芸術  
・スポーツ

子育て

居場所  
づくり

創業支援  
・C  
・B

地域経済

環境

国際交流

人権擁護  
・社会教育

福祉・保健・医療

プロウタイム（こころを耕す書道の時間）	17
野原の通信社	17
まちかどデッサン会	18
まちライブラリー@くにたちダイヤ街	18
MeMeM（メメモ）	18
ロザルバの楽しいイタリア語	19
✍️ コラム／くにたち社協（社会福祉法人 国立市社会福祉協議会）について	19

## 子育て

NPO 法人 くにたち農園の会	20
NPO 法人 くにたち冒険遊び場の会	20
NPO 法人 国立子育てティエラ	21
NPO 法人 子ども大学くにたち	22
一般社団法人 リング・リンクくにたち	22
一般社団法人 日本学習支援協会 パワーアップ塾	23
かたかたことこと風のへや	23
ガールスカウト東京都第 145 団	23
Qolorful（カラフル）	24
カワセミ塾	24
くに comm（くにたちコミュニティ）	25
国立市の助産婦 野島美佳	25
子育てサロン ぱーくんち	26
りんごのほっぺ科学あそび教室	26

## 居場所づくり

絆の会	27
蔵松屋 ～谷保のネオおばあちゃん家～（通称：ネオおば）	27
コトナハウス	28
ひらやの里	28
まんまのま	29

## 創業支援・コミュニティビジネス

一般社団法人 眞山舎 (さなやまや) .....	30
株式会社 DelQui (おへそキッチン) .....	30
CESA くにたち .....	31
SEEDPLACE .....	31
富士見台トンネル .....	31

## 地域経済

NPO 法人 おまかせハウスワーク .....	32
NPO 法人 くにたち農里 MEM .....	32
ニッポー設備 株式会社 .....	32
国立中村園 .....	33
✍️ コラム / 「つなぐ、ひろげる、つくりだす」 国立市ボランティアセンター .....	33

## 環境

認定 NPO 法人 バードリサーチ .....	34
NPO 法人 輝く未来の風 .....	34
NPO 法人 国立市動物調査会 .....	35
NPO 法人 日本公開庭園機構 .....	36
くにたち桜守 .....	36
ゼロエミッションを実現する会・国立 (ゼロエミ国立) .....	36
ちいきエナジー .....	37

## 国際交流

KUNIFA 日本語サポート .....	38
くにたち国際友好会 WING .....	38

まちづくり

地域メディア

学術・文化・芸術  
・スポーツ

子育て

居場所  
づくり

創業支援  
・C  
・B

地域経済

環境

国際交流

人権擁護  
・社会教育


福祉・保健・医療



## 人権擁護・社会教育

NPO 法人 アサーティブジャパン	39
NPO 法人 シングルマザーズシスターフッド	39

## 福祉・保健・医療

認定 NPO 法人 ジャパン・カインドネス協会	40
NPO 法人 アビリティクラブたすけあい くにたちすてっき	40
NPO 法人 国立フィジオ研究所	41
NPO 法人 くにたち夢ファーム	41
NPO 法人 国立ルピナス	42
NPO 法人 子育て支援事業団あじさい園	43
NPO 法人 在宅ケアを支えあう会	44
NPO 法人 燦（さん）～福祉作業所天成舎～	44
NPO 法人 すずらん	45
NPO 法人 対話ラバーこころ・そだち・コミュニケーションの相談室	45
NPO 法人 多摩在宅支援センター円（えん）	46
NPO 法人 東京自立支援センター	47
NPO 法人 福祉サポートライン・くにたち	47
NPO 法人 フードバンクくにたち	48
NPO 法人 ワンステップかたつむり国立	49
一般社団法人 POC	49
社会福祉法人 滝乃川学園	50
社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会	50
国立五日制の会	51
くにたち発達しょうがいを考える会「太陽と昴の会」	51
くにたち地域ケア	52
食物アレルギーサークル にこにこ	52
なかよしコープ国立（旧・銀風工房）	53
ママエステアシスト協会	53
 くにたち地域コラボとは	54

## まちづくり ● 5 団体

### NPO 法人 いきいき市民協働ネット

所在地 ● 国立市東 1-4-6 国立商協ビル内

代表 ● 武澤俊夫

認証年月日 ● 2002 年 1 月 25 日

公式サイト ● <https://www.i-can.be/>

活動分野 ● 保健・医療・福祉／社会教育／まちづくり／情報化社会／  
科学技術の振興／経済活動の活性化／職業能力・雇用機会／連絡・助  
言・援助



**活動の目的** ● この法人は、中高年齢者、主婦、障害者、学生などの市民を対象に、地域の商業・産業の活性化のためにそれぞれの一芸・一能（スキル）を出し合い、関係する行政や大学、企業との協働・橋渡しの場づくり、これからの情報社会に対応できる情報技術活用のスキルアップ、生活文化情報の発信、自治体及び市民が推進するまちづくりに関わる調査・相談・提案などをおこない、もっていきいきした明るいまちづくりに寄与していくことを目的とする。

**活動の概要** ● 2002 年に NPO 法人設立以来、IT 関連事業としてパソコン相談室、NPO 法人パソコン支援、スマホ・タブレット支援活動等を続けてきた。また、ふれあい交流事業として市民の親睦と見聞を広げることを目的とした見学会や、エンディングノートの普及啓発活動を行い、“和おどり”でまちを盛り上げる「よさこいソーラン」は、市民まつりや近隣市の催しに積極的に参加してきた。会員の高齢化による先細りはあるが IT 関連事業はニーズもあり、代表らの経営する会社（もともと国立市内の商店街を活性化させようと NPO と JOINT して何かやろうと考えて設立した会社の）事務所を兼用しているため最小限の管理運営費で継続できている。他方、ふれあい交流事業はコロナ禍の影響を大きく受け、この 3 年間は中止を余儀なくされた。今後の活動の方向性としては、少子高齢化時代の先を見据え、高齢者の健康寿命を伸ばす（ピンピンコロリ）運動を拡げたいと考えている。具体的には、健康維持や生き甲斐づくりの場として高齢者が仕事を持つ、社会活動をするための環境整備や、独居高齢者を支える高齢者同士の共助の仕組みづくりなど。

**現在の課題** ● 新たな活動に取り組みたいが、代表者が本業で多忙なため着手できていない現状がある。細かいところでは、現在ホームページにアクセスできない状況にあり、原因究明と問題の解消を急ぎたい。

**国立市への要望** ● 新しい活動に取り組むにあたり、市内在居高齢者への活動内容の周知など広報への協力をお願いしたい。

**地域連携** ● NPO 活動支援室の立ち上げにも関わる等、市役所や商業協同組合をはじめ、設立当初から市内外の多くの団体と連携してきた。

### NPO 法人 国立市観光まちづくり協会

所在地 ● 国立市中 2-2-11 センテ国立

代表 ● 板坂克二

認証年月日 ● 2008 年 10 月 20 日

公式サイト ● <https://kunimachi.jp/>

活動分野 ● 社会教育／まちづくり／学術・文化・芸術・  
スポーツ／経済活動の活性化

**活動の目的** ● 広く一般市民の舞台であるまちを豊かなものにするため、賑わい創出に関わる事業やまちの個性を活かしたイベント事業、総合ポータルサイトの構築・運営事業を市民団体等と連携し、その情報を発信して産業の振興と個性豊かな魅力あるまちづくりに寄与することを目的とする。



**活動の概要**

- ・旧国立駅舎内のまち案内所の運営
- ・国立市のまちの魅力を広く発信するシティプロモーション事業
- ・『くにたち観光案内人』による市内の観光ツアー
- ・ドラマや映画のロケのサポートを行う『国立市フィルムコミッション』の運営
- ・暮らしや観光情報を発信するwebサイト『くにたちNAVI』の運営 など

**NPO 法人 くにたち富士見台人間環境キーステーション (KF)**

**所在地** ● 国立市富士見台 1-7-1-103

**代表** ● 内藤哲文

**認証年月日** ● 2006年1月17日

**公式サイト** ● <https://www.human-environment.com/>

**活動分野** ● 社会教育／まちづくり／学術・文化・芸術・スポーツ／環境の保全  
／経済活動の活性化／連絡・助言・援助

**活動の目的** ● 広く一般市民を対象として、市民講座まちかど教室、市民文化活動支援、自主企画コンサート、自主企画絵画展等による文化・教育振興に関する事業、コミュニティカフェ運営による交流の場提供、人材派遣等でのコミュニティ・イベント支援等による交流促進活動に関する事業、ごみ減量の促進事業、機関紙発行、ホームページ運営等による地域情報発信事業、文化・教育・商業の振興に関する調査研究事業、食育思想及び地元特産物の普及啓発や活動の成果等をひろく提供する普及啓発事業を行い、全国のまちづくりをめざす諸団体とも連携して、高齢化、人口減少等のため商店の閉店が続き不振に陥っている商店街の再活性化を通して、活気溢れる活力あるまちづくりの実現に寄与することを目的とする。



**活動の概要** ● 高齢化したUR富士見台第一団地の商店街の空き店舗を拠点に、商店主と大学生、市民が協働して地域活性化に取り組む。国立市産業振興課の呼びかけに始まり、2002年一橋大学の『まちづくり授業』と並行してスタート。『カフェここの』『とれたの』『KFまちかどホール』、手作り雑貨とリサイクル『ゆーから』、ものづくりシェア工房『クミタテ』の5店舗の運営に、『やほレンジャー』などイベントを担う『商店街協同』チームの合計6事業。大学生は学内インカレサークル『Pro-K』として活動、また商店主や市民は地域の受け皿となり、経営やイベントで活躍する学生の相談役として日々協働している。

**地域連携** ● 富士見台三商店街との連携は、谷保天満宮例大祭や地域自治会の盆踊り（納涼祭）など年間10回にも。まちかどホールは受付業務を『くにたち地域コラボ』に委託。コロナ禍では『わがまち国立の飲食文化を守ろうプロジェクト』またNPO法人国立市観光まちづくり協会と連携し『くにたち夜桜ライトアップ』各クラウドファンディングを成功させた。2022年からはWCD（World Cleanup Day Japan）参加。『やほレンジャー』は保育園、幼稚園、小学校や市のイベントに出演し、子どもたちに人気のローカルヒーローになっている。



## NPO 法人 くにたち MATE

所在地 ● 国立市中 2-22-5

代表 ● 井上敏宏（井上造園株式会社 代表取締役）

認証年月日 ● 2016年7月26日

公式サイト ● <http://kunimate.net/>

活動分野 ● まちづくり／観光振興／学術・文化・芸術・スポーツ／情報化社会の発展／経済活性化／NPO 支援

活動の目的 ● 広く一般市民を対象として、地域に密着したキャラクターを創出し、そのキャラクターの登場する物語作品を通して、地域発のイベントの紹介、スポット情報等をインターネット及びその他の情報ツールを使用し発信することにより、地域の学術、文化、芸術、観光の振興を図るとともに、まちづくりの推進及び地域の経済活動の活性化を図ることを目的とする。



活動の概要 ● キャラクターは地元の都立国立高校に通う『立花 杏（たちばな あん）』と、国立音楽大学附属高等学校に通う『立花 桃（たちばな もも）』という双子姉妹。2人の「物語」の創作を通して、インターネット動画、書籍、漫画、ゲームなどマルチメディアの利用展開やまちをレポートするなど、ニュースメディアへの露出機会を増やすことで、国立市を盛り上げ、国立市の魅力を再発見し、国立市への来訪者を増やしたい。

2015年には『天下市』とのコラボレーションとして、関連商品を販売、2016年10月末からは活動拠点として、杏と桃の両親が経営するカフェという設定でダイヤ街商店街に『Poppo Cafe』をオープン、まちをレポートした動画をネットにアップするなど活動してきたが、コロナ禍もあって活動停止中（2023年現在）。

現在の課題 ● コロナで活動が停止したこともあり、当時賛同していた人材がほぼ離れてしまい、資金不足も。

代表は国立生まれ、国立育ちで本業は造園会社経営だが、現在名古屋の別会社の運営も手掛けており国立を離れて活動していることも多い。国立市を盛り上げたい意欲は変わらないが、距離的にも継続が厳しい状況である。

国立市への要望 ● キャラクターを活用した国立のガイドを作りたいが、助成金など支援はないだろうか。

地域連携 ● 谷保駅北口商店会（商店街のフラッグに採用） マロニエ（双子姉妹のクッキーを販売）

## 街 kadode 実行委員会

所在地 ● 国立市中 1-7-48-306

代表 ● 高野 宏

Instagram ● [machi.kadode](https://www.instagram.com/machi.kadode) で検索

活動の概要 ● 国立を拠点に、婚活や結婚式などお祝い行事のプロデュース。地域の得意なことを持った人たちが協力して一緒にお祝いする。主に公共的な場やコミュニティスペースを活用し、市場相場よりも安価で開催できる。地域の人々の思いのこもった心温まる会として、地域との新しいつながりを生んでいくことを期待している。



現在の課題 ● 市が管轄する公共空間の活用方法

地域連携 ● NPO 法人 くにたち農園の会／ルーチェ（市内ウェディングドレスメーカー）／Lohaty（市内美容室）／すみや（市内着物屋）／他市内で活動するミュージシャン、カメラマン、シェフなど。

## 地域メディア ● 3 団体

### 株式会社 グッドライフ多摩

所在地 ● 立川市錦町 2-6-12-302

代表取締役 ● 石原靖之

設立 ● 2016年2月1日

法人番号 ● 5012401031023

運営サイト ● イマタマ <https://imatama.jp/>

● 東京マウンテンツアーズ（旅行事業）  
<https://tokyomountain-tours.jp/>



**活動の概要** ● メディア事業をベースに地域や社会の課題解決と活性化に特化した事業を行う「多摩地域活性株式会社」。自社のWEBメディア『イマタマ』では、多摩地域の旬なおでかけ情報を発信している。ユーザーは会員登録すれば無料でイベント告知が可能。現在会員は個人・団体を含め約 2000 ユーザーを数える。

また、西多摩地域の活性化を目的に旅行事業（東京マウンテンツアーズ）も 2020 年から本格的に開始し、地元事業者と連携し「SDGs ツアー」を企画販売する。

**関係団体** ● 東京都商工会連合会 多摩観光推進協議会など。

### 国立歩記

所在地 ● 国立市富士見台 1-7-1-102 プラムジャム内

代表 ● 関 毅

公式サイト ● <http://kunitachiaruki.jp/>

**活動の概要** ● 国立市の地域限定フリーペーパー。2008～2020年3月まで、季刊（年4回）35000部発行。発行元である地域の老舗・株式会社せきやを唯一のスポンサーとして、市内ポスティングを中心に、公共施設、せきやビル等において無料配布。

市内在住のフリーランスの編集者、ライター、デザイナーが編集部を構成し、商店から農家、アーティスト、自然にあふれた子どもの遊び場まで幅広く取材して、国立市の多様な魅力を掘り起こしてきた。

50号までのバックナンバーはブログにて閲覧可能。

**現在の課題** ● コロナ禍のため、2020年3月に第50号を発行後、残念ながら休刊中。

2024年度に新体制で一部復刊予定。

**地域連携** ● 国立市役所 / NPO 法人 国立市観光まちづくり協会 など



## 国立人 まちの仕事さがし

所在地 ● 国立市中

代表 ● 合同会社三画舎 加藤健介

公式サイト ● <https://kunitachijin.com/>



**活動の概要** ● 「のびやかにはたらく人を大切にする」がコンセプトの求人サイト。国立エリアの会社やお店、団体等の魅力を伝える記事を掲載し、国立で暮らし働く人を増やすことを目的としている。

事業者と求職者のマッチング率は90%以上と高く、仕事を探していない時も読み物として楽しむ読者が多い。2022年からオンラインショップ『国立人ストアー』を立ち上げ、全国から購入する方がいるなど、国立を知る入り口を増やしている。

**現在の課題** ● 編集部スタッフが多忙になり、国立をじかに歩いて、会社やお店の方々と顔を合わせたコミュニケーションが取れる時間が少なくなってきたこと。猫の手ではなく国立が好きなお店の手を借りたい。

**地域連携** ● 市内や近接する市の会社・店舗、約30カ所が掲載。

### 特定非営利活動法人（NPO 法人）について

特定非営利活動促進法（平成10年－1998年12月に施行）に基づき法人格を取得した法人。「NPO」とは「Non-Profit Organization」の略称で、さまざまな社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称です。

法人格を持つことによって、法人の名の下に取引等を行うことができるようになり、団体名義での契約締結や土地の登記など、団体がいわゆる「権利能力の主体」となり、団体自身の名義において権利義務の関係を処理することができるようになります。

NPO法人を設立するためには、所轄庁（東京都は「東京都生活文化スポーツ局 都民生活部 管理法人課」）に申請をして設立の「認証」を受けることが必要です。認証後、登記することにより法人として成立することになります。

またNPO法人のうち実績判定期間（直前の2事業年度）において一定の基準を満たすものとして所轄庁の「認定」を受けた法人は、認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）となります。認定NPO法人になると、税制上の優遇措置を受けることができます。

（出典：内閣府 NPO ホームページ <https://www.npo-homepage.go.jp/>）

## 学術・文化・芸術・スポーツ ● 22 団体

### NPO 法人 国立人文研究所

所在地 ● 国立市

代表 ● 大河内泰樹

認証年月日 ● 2016年5月9日

公式サイト ● <https://kuniken.org/>

メールアドレス ● [info@kuniken.org](mailto:info@kuniken.org)

活動分野 ● 社会教育 / まちづくり / 学術・文化・芸術・スポーツ / 連絡・助言・援助

活動の目的 ● 広く一般市民を対象にして、人文学の振興のための教室の開講、講演会やイベントの開催などの事業を通じて、人文学の普及と学術的発展に寄与することを目的とする。



活動の概要 ● 人文学の学校 KUNILABO を運営。4 月期（4～7 月）と 9 月期（9～12 月）に哲学・文学・歴史学などの人文学講座と人文学ゼミ講座をあわせて 12 講座程度を開講している。現在は、ほぼすべてがオンライン講座。その他、ブックトーク、『大学はどこへむかうのか』などのオンライン・シリーズ企画を不定期で開催。対面の企画としては国立市で『じんぶんカフェ』を開催し、哲学・文学・歴史に関するテーマを設定、議論し合う場を提供している。年に一度春（2、3 月）には周年イベントを開催しており、2023 年 3 月には 3 年ぶりに国立市で対面開催となった。若手研究者支援として博士論文の出版助成も行っている。

現在の課題 ● コロナ禍で、オンライン開催に移行し、全国から受講することができるようになったが、目標のひとつであるコミュニティー形成としての意味合いが薄れてしまっている。現在徐々に、国立市を中心に対面開催を増やしつつあり、オンラインと対面との適切な組み合わせを模索している。

地域連携 ● 会場として『ロージナ茶房』や『スペース・コウヨウ』を利用。

### NPO 法人 現代朗読協会

所在地 ● 国立市

代表 ● 野々宮卯妙

認証年月日 ● 2006年3月3日

公式サイト ● <http://www.roudoku.org/>

活動分野 ● 社会教育 / 学術・文化・芸術・スポーツ / 子どもの健全育成 / 情報化社会 / 連絡・助言・援助

活動の目的 ● 広く一般市民を対象として、朗読を中心とする音声表現芸術の可能性を模索・研究し、表現活動の場や技術向上の機会を提供することで、音声表現芸術に対する理解を深め、美しい日本語と新しい文化の創造・発展に貢献することを目的とする。



活動の概要 ● 2016 年にそれまで活動していた世田谷から国立に移転。小説家・詩人・ピアニストの水城ゆうさんが亡くなり、代表を引き継ぐ。

現代朗読は自由と言われるが、読み方のことではなく、自分が自由になり、その結果、読み方も自由（に見える）ということ。主催している『現代朗読ゼミ』は、「自分に嘘をつかない」「唯一無二」の表現を目指す。方法論として、非暴力コミュニケーション（NVC）とマインドフルネスをベースに、身体表現に落とし込むことを探究している。

コロナ禍ではオンラインでゼミを開催していたが、2023 年春から国立市内でリアルゼミを再開した。コロナ禍以前には小中学校や文学館などで公演やワークショップを実施、ラジオ番組やオーディオブックの制作実績も重ねてきた。



平行して 10 年近く、じっくりと自分の身体と向き合うために、中国武術のひとつ『韓氏意拳』講習会を開催、国立市でも実施。韓氏意拳は先生の前ではごまかしや逃げのきかない厳しさがあるが、激しい組み手や動きはなく、運動をし慣れない人も取り組める。

さらに、老若男女を問わず取り組める心身の健康法として、声や音、振動などをつかって体に注目する「音読療法」（呼吸と声のメンタルケア）を体系化。上手下手に囚われないよう呼吸法からスタート、参加者に合わせてさまざまな文章をリズムや動きを取り入れて音読する体感的なワークを、老人施設などで音読療法協会名義でおこなっている。

**現在の課題**●国立市でのネットワークがなく、イベントも下北沢を中心に開催してきたが、今後は地元周辺での活動をめざし、協働やコラボを希望している。

**国立市への要望**●音読をパフォーマンスアートに発展させる指導や、介護予防のための指導を長年やってきたので、このスキルを国立市民のために活用してほしい。

**地域連携**●国立市駅近くの春野亭にて朗読教室・音読カフェなど。

## NPO 法人 こどもの城合唱団

**所在地**●国立市

**代表**●高谷温子

**認証年月日**●2002年3月6日

**公式サイト**●<https://kodomonoshiro-uta.com>

**活動分野**●保健・医療・福祉／社会教育／まちづくり／学術・文化・芸術・スポーツ／子どもの健全育成

**活動の目的**●不特定多数の市民に対して「歌うこと、踊ること、自分の身体を使って表現することはあらゆる人に与えられた権利である」ことを知らしめ、その喜びを障害者、健常者の区別なく分かち合うことを目的とした文化芸術事業を行う。あわせて高齢者、障害者への音楽療法の研究を行い、地域社会、学校、家庭を結ぶ文化芸術の振興に寄与することを目的とする。



**活動の概要**●1985年の4月、同年11月の国立児童総合センター『こどもの城』のオープンに先駆けて結成され、2015年の『こどもの城』閉館後も、3歳から82歳までの世代や性別、国籍や障害の有無を超えた多様性のある約250名が在籍し、音楽を通じたインクルーシブ活動を元気に続けている。平成13年と27年に活動を評価され「児童福祉文化賞」を受賞。また、2021年に行われた『2020東京パラリンピック閉会式』では国歌斉唱を務めた。

さまざまな枠を越えた“ちがうみんな”が集まった合唱団は、音楽を通し、全国の子どもたちとの交流活動、また病院や老人ホームなどへの慰問活動、多くの施設でのワークショップ活動など、色々な体験を重ねながら事業を展開。今夏休みも香川県を訪れ交流コンサートを行い活動の場を広げた。また現在NHK Eテレで放送中の『ワルイコあつまれ』でも合唱を担当し活躍中。



## 一般財団法人 中本達也・臼井都記念芸術資源館

所在地●国立市東 3-15-11

代表●駒形幸夫

設立年月日●2020年8月19日

公式サイト●<https://www.nu-art.tokyo/first/>

### 活動内容●

- ①所蔵作品・資料の研究と修復、自主制作スペース、画材のリユースと再利用、おもちゃ病院
- ②作品の所蔵と展示、芸術資源館・ガーデンギャラリー企画展、共同企画展、作品の貸出
- ③絵画教室、居場所としての空間、美術専門書の図書スペース
- ④館外出張企画 ART FOR ALL、館内各種イベント・ワークショップ

### 現在の課題●

- ①資金難、借上金の返済（2025年7月）と日常運営費（光熱費等）が不足
- ②事務局人員がない、活動を維持するボランティアスタッフが足りない。
- ③法人運営上の内部管理としてコンピューターなどの機器と内規等の制度整備が整っていない。
- ④近隣からの苦情（騒音）対応

国立市への要望●アトリエ建物は戦後すぐに建築されたものであり、当時の国立市を伝える貴重な文化財としての価値を認めてもらえないか。固定資産税免除など、資金援助をいただきたい。

地域連携●国立市児童青少年課／生活福祉課／社会福祉協議会（子どもの居場所連絡会）／おもちゃ病院協会／NPO 法人くたち農園の会『つちのこや』等

## 一般社団法人 ACKT

所在地●国立市

代表者名●丸山晶崇

設立年月日●2021年4月1日

公式サイト●<https://www.ackt.jp/>

# ACKT

活動内容●ACKT(アクト/アートセンタークニタチ)は、東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、国立市、公益財団法人くたち文化・スポーツ振興財団、一般社団法人ACKT が手を組み、始動したアートプロジェクト。ACKTでは、“文化と芸術が香るまちにくたち”を掲げる「国立市文化芸術推進基本計画」にもとづき、行政と市民、市内外の文化芸術の担い手と連携をはかり、アートやデザインの視点を取り入れた拠点づくりを行う。国立市及び多摩地域の潜在的な社会課題に向き合い、新たな文化をつくる多様な人が集まり活動を育むプラットフォームの構築を目指している。

現在の課題●国立市内の住民への芸術・文化活動の促進へ向けて各団体間で方向性を確認し、より同じ方向へ足並みを揃えていくことが課題。

国立市への要望●国立市役所内でACKTの活動にご興味がある職員の方がいらしたら、ご紹介いただきたい。

地域連携●ACKTでは、『Kunitachi Art Center』という国立市内とその周辺地域を横断するアートイベントでのワークショップの開催やCASTと呼ばれるボランティアの方々との交流をはじめとする様々な地域住民と関わりを持つなど、地域との連携を意識したプログラムを行っている。

## i-ze (いーぜ)

代表●山根浩子

公式サイト●[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/izeyamane](https://peraichi.com/landing_pages/view/izeyamane)

メールアドレス●izefuchu@gmail.com



活動の目的や概要 ビジョン●すべての人が自己の存在を肯定し自分らしく輝いていけることができる社会を目指す。

自己肯定感や自尊感情を高める(好きを大切に)ワークショップを国立市・府中市にて実施。

多世代・多様な人達を対象にイベントの企画・運営を行い笑顔で繋がるまちづくりのお手伝い。

ワークショップ事例：キッズドリームマップ®・花育ワークショップ・親子で遊ぼう3～6歳・IKIGAI(生きがい)map・きりがみリース&きりくずアートカレンダーなどのワークショップ。

介護施設 夢と笑顔の書道勉強会、デートDV防止講座勉強会 など

これらは、会員の得意性を重視し又会員同士で応援サポートして実施されている。

現在の課題●地域でのキッズドリームマップ®ワークショップを展開し、将来と自分自身がつながっている実感や夢を描くこと。自己容認・自己肯定感や自尊感情を高めるお手伝いがしたいので、行政と連携できないものか考えている。このドリームマップ®ワークショップを夏休み春休みに実施したい。例えば外国にルーツをもつ小学生・中学生・支援学級の子供たち対象に実施できないものか。

国立市への要望●学校ドリームマップ授業を1/2成人式(小学4年生)に体験してもらいたい。中学2年生の職業体験の前にキャリアプログラムドリームマップ®でしっかり将来の夢を設計した上で職業体験を実施できないものか教育委員会へ要望したい。

地域の連携団体●国立市公民館利用連絡会/矢川プラス登録団体/府中市市民活動センタープラッツ登録団体/府中市男女共同参画センターフューチャー登録団体/くにたち国際友好会WING/くにたち地域コラボ/絆の会/ひらや照らす/府中市介護予防センターいきいきプラザ/社会福祉法人多摩養育園高倉保育園/シルバーハイツ谷保/至誠ホームアウリンコ/SOMPOの家ラヴィーレ府中/ラジオフューズ87.4MHz 他

## 音読療法協会

所在地●国立市

代表●野々宮卯妙

公式サイト●<https://www.voicetherapy.org>

活動内容●音読療法=非暴力コミュニケーションとマインドフルネスを柱に、自分自身の声と呼吸で心身の全体性を回復する方法の普及

現在の課題●老若男女を問わない簡易で安価な手法でありながら、広報・周知が必要な方に行き届かないこと。

国立市への要望●市民の介護予防(高齢者向け)、非認知能力向上(幼児児童向け)、非暴力コミュニケーション教育(中高生～一般向け)に活用できるので機会があればぜひ協力したい。



## 季節の手しごと倶楽部

代表●菅原由美

Instagram●[https://www.instagram.com/mamagocoro\\_club2/](https://www.instagram.com/mamagocoro_club2/)

活動内容●梅干しや味噌づくりなど、日本に昔からある食の手仕事を中心に、多世代の参加者が頼り頼られながら「やってみたい!」「また作りたい!」に取り組んでいる。

現在の課題●教室を開いているが、参加人数にとっても波がある。食の手しごとを日常にしたい、丁寧な生活をしていきたいという方々に開催情報がなかなか届いていない。

国立市への要望●『くにたち地域コラボ』発行の広報誌に掲載されたことがあるが、他にもこのような会の情報を知ってもらえる機会があると嬉しい。

地域連携●NPO 法人 くにたち農園の会（畑の家）。使用する食材は、市内の有形農場、『とれたの』、『くにたち野菜しゅんかしゅんか』など国立の食材を取り扱う店などを利用している。

## くにたちエール

所在地●国立市富士見台 2-48-1

代表●大高順子

公式サイト●[https://www.c-spr.net/c/kunitachi\\_yell](https://www.c-spr.net/c/kunitachi_yell)

メールアドレス●[kunitachi.yell@gmail.com](mailto:kunitachi.yell@gmail.com)



活動の目的や概要●多くの人が元気に、そして地域が活性化していけるよう、住民同士で協力して活動を進める。

基本事業は各種スクールや大会企画など、交流儀業として地域や会員同士で楽しみ交流できる企画を行っている。

現在の課題●運営スタッフが少ない。さまざまに必要とされる運営ノウハウの不足。エールの謝金で対応可能な質の高い指導者を探しにくい。地域全体に発信できる媒体がない。

国立市への要望●今後も活動場所の確保で協力をお願いしたい。

## くにたち絵手紙の会

代表●図師チヨ

メールアドレス●[z.cha.cha831@gmail.com](mailto:z.cha.cha831@gmail.com)

活動の目的や概要●絵手紙のモットーは「ヘタでいい ヘタがいい」。

葉書に身近な花や野菜、また四季折々の風物詩などを描き色を付け、短い言葉を添えてポストイン。

絵のある手紙は温かく、とても喜ばれる。

絵手紙は老若男女どなたでも気楽に続けられる。

また交流することで人とのつながりも生まれ、日々の楽しみも増していく。

## 国立せいさく所

代表 ● 隈井裕之

公式サイト ● <https://seisakusyo.jp>

メールアドレス ● [info@seisakusyo.jp](mailto:info@seisakusyo.jp)



国立せいさく所  
Kunitachi Makers®

**活動の目的や概要** ● ICT の利活用でシニアの生活面での社会コスト増を抑制し間接的に若者を支援する」ことを目的に、個人向けのスマホ・パソコンお困りごと相談をメイン事業とし、情報セキュリティ講座などの ICT 啓発活動を国立市を中心に多摩地域で実施。

**現在の課題** ● コロナ禍で閉鎖した矢川工場の機能移転と、新設したやまなみ温泉出張所（相模原市緑区：お困りごとの解決だけでなく温泉で体と心も癒してもらう新事業）の安定運営

**国立市への要望** ● 市は、市民の ICT ニーズに応えられていないと感じる。

**地域連携** ● 地域 ICT 利活用研究会／くにたち・梨園ボランティア

## くにたちの暮らしを記録する会

**活動場所** ● くにたち郷土文化館、国立市古民家

代表 ● 佐伯安子

**活動の概要** ● 変わりゆく谷保の歴史を伝えるため、農家で使われなくなった民具を歩いて集め、昔の暮らしを記録してきた。現在は次の時代を担う子どもたちとの触れ合いを大切に、少しでも昔を伝えていきたいと、郷土文化館にて市内の小学3年生が学校行事の一環で学ぶ『民具案内』を担当。市民に向けての年中行事では『十五夜祭り』『繭玉祭り』『ひし餅づくり』『わら草履づくり』など大切な地域の文化の伝承を担っている。（写真提供：くにたち郷土文化館）



**現在の課題** ● 会員の高齢化にともない、活動（のありよう）を考える時期がくるかもしれない。

**国立市への要望** ● くにたち郷土文化館の協力があり、力強いと思っている。関心のある他のグループとの連携があるといいのだが。

## 国立本店

**所在地** ● 国立市中 1-7-62

代表 ● 加藤健介

公式サイト ● <https://kunitachihonten.info/>

**活動の概要** ● 本を読んだり、話をしたり、誰でも立ち寄れるまちのスペース。市内内外のメンバー約 30 人で構成された『ほんとまち編集室』が運営。壁一面の 40 棚の本棚にメンバーそれぞれが選書した本が並び、誰でも閲覧できる。本、まち、デザイン、編集を意識しながらメンバーが主催するまちのイベントもあり。メンバー参加費は 1 人 4000 円/月（学生は 2000 円/月）。



国立  
本店

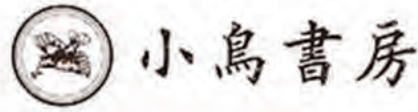
**地域連携** ● その時々活動内容により、地域の団体や企業、個人などと連携することがある。

## 小鳥書房

所在地●国立市富士見台 1-8-15

代表●落合加依子

公式サイト●<https://www.kotorishobo.com/>



活動の概要●「たったひとりの誰かが心から喜んでくれる」本づくりがしたいと立ち上げた出版社・編集社であり、デザインを請け負うプロダクションの事務所であり、谷保で数少ない書店でもある。商店街を盛り上げる情報発信など、地域とのつながりも大切に、編集希望者のインターン（年齢問わず）も毎年 40 人ほど受け入れている。

NHK スペシャルで放送され大反響を呼んだ、広島県の保護司ばっちゃんこと中本忠子さんの日常を料理詩集にまとめた『ちゃんと食べとる?』は、2018 年の広島本大賞ノンフィクション部門を受賞。営業日時は水～土曜の 13:00～19:00。

地域連携●コトナハウス

## 梓水会（しすいかい）

活動場所●福祉会館分室、プラムジャム

代表●山吉梓水（弘子）

活動内容●1972 年自宅の教室から初めて通算 52 年。初めて筆を持たれる方や、以前に経験された方などそれぞれの「やってみたい」という気持ちを大切に。いろいろな手本をもとに、楷書から行書、草書、写経等々わかりやすく指導。少人数で、参加者には静かな環境で集中できると喜ばれている。

①『書に親しむ』第 1・3 土曜午後@社会福祉会館分室（2006 年より。社会福祉協議会なごみのサークルの 1 つとして）

②『筆と親しむ』第 1・3 月曜午前@プラムジャム（2018 年 3 月より）

## ドイツ語を学ぶ会

代表●Andreas Simonsen

メールアドレス●[stehnzweistern@ac.auone-net.jp](mailto:stehnzweistern@ac.auone-net.jp)

活動目的や概要●ドイツ出身の講師による参加者同士の交流、情報交換の場を設けること。ドイツ語をはじめ外国語を学びながら、コミュニケーションの場を提供することを目的としている。

現在の課題●広報や体験教室等によって参加者を募集、人数を増やし事業の安定化を図りたい

地域の連携団体●くにたち地域コラボ、東福祉館など



## プロウタイム（こころを耕す書道の時間）

代表●山根浩子

メールアドレス●kodomo.hikkou22@gmail.com

**活動の概要**●書道を通じてコミュニティや漢字・万葉集・現代表現の学びを提供。子どもから高齢の方まで安心して自分のペースで体験できる。インパウンドでの外国人書道体験も。

もう一度書道にチャレンジしたい人のために、基本線から書の表現まで。また同時に中国古典・日本古典・文字の歴史の基本をも学ぶことができるように心がけている。



**現在の課題**●インターネットを使った書道教室を広め世界中から体験できること。また日本と日本以外の国へ漢字・仮名文化の歴史や字源を知り日本文化を広めていきたい。

**国立市への要望**●学校での書道時間削減、パソコン普及のため書くことが少なくなっている。

夏休みや春休みに、多くの子どもたちやおとな、外国人の多世代交流の場として、書道や文字の成り立ちなどを学ぶ体験を要望。外国からの留学生やその家族などに毛筆で自己表現時間を。

**地域連携**●i-ze（いーぜ）／国立市公民館利用連絡会／矢川プラス登録団体／府中市市民活動センタープラッツ登録団体・府中市男女共同参画センターフューチャー登録団体／くにたち国際友好会 WING /くにたち地域コラボ  
・絆の会／ひらや照らす／府中市介護予防センターいきいきプラザ・  
・（社）多摩養育園高倉保育園／シルバーハイツ谷保／至誠ホームアウリンコ／SOMPO の家ラヴィーレ府中  
・ラジオフューズ 87.4MHz Dear Fuchu おもてなし府中

## 野原の通信社

所在地●国立市

代表●和田まさ子

**活動の概要**●国立市内の身近な自然に注目し、出版などを通じて情報発信している。自然を見つけるリトルブックは、国立在住の植物学者・倉本宣氏による著作の発行。そのほか、国立出身の絵本作家・降矢ななさん（スロバキア在住）によるグッズの制作販売や国立旧駅舎のグッズの制作販売をしている。市内の植物観察ツアーなども随時主催。



『くにたちすま植物』（37ページ、500円）『くにたちと中央線 植えます植物』（46ページ、660円）

『くにたち周辺 さとやま植物』（44ページ、660円 以上税込）また『くにたちの桜と旧国立駅舎』（A4ファイル440円、絵はがき3枚セット330円）を発行。

降矢ななさんの絵はがきとA4ファイル、『くにたちの桜と旧国立駅舎』のA4ファイルと絵はがきは増田書店、旧国立駅舎内『まち案内所』、くにたち郷土文化館、『とれたの』で販売中。

**現在の課題**●『センス・オブ・ワンダー』のような、身の回りの自然を発見し、それらを次代に残し、さらに回復するような活動を続けたい。

**国立市への要望**●すき間などの小さな地面にも野草が生えていることを見つけていく人を増やし、ひいては昔のようなさまざまな生きもの、草木のあった環境を取り戻し、国立の生物環境を生き生きしたものになりたい。

**地域連携**●自然の団体のみならず、保全、美術、文学などさまざまな団体と連携を持ちたい。

## まちかどデッサン会

代表●山内唯志

公式サイト●くにたち地域コラボ『ごぜん塾』を参照

活動内容●趣味や仕事に役立てるための、デッサン技術の習得。『まちかどごぜん塾』（プラムジャム）では、毎月2回隔週土曜日に、鉛筆の削りかたから陰影の法則、身近なモチーフを描けるようになることを目標に、立体を描く楽しさを教えている。



## まちライブラリー@くにたちダイヤ街

所在地●国立市富士見台 1-8-15 2F

代表●林 大樹

Facebook ● <https://www.facebook.com/machi.library.kunitachi/>

活動の概要●『まちライブラリー』（全国に1000カ所以上）は、お店やカフェ、寺、大学の一角などにあるまちの図書館。代表の林 大樹氏（一橋大学名誉教授）は長年、まちづくり授業などを通して地域に関わってきた経験もあり、子どもから高齢者まで多世代が本と出会い、人と出会う「まちの居場所」として谷保の商店街に開設。水～土曜 13:30～18:00 オープン。本の貸し出しもしている。



現在の課題●持続可能な運営形態の探求

地域連携●くにたち富士見台人間環境キーステーション／小鳥書房 など

## MeMeM (メメモ)

所在地●国立市中 1-10-28 301

代表●嶋津穂高

公式サイト● <http://www.memem.jp/>

活動内容 ●映像・音楽制作／スクール事業／アトリエ運営

国立市への要望●地域の子育て支援団体に協力し、学習支援の一環でピアノレッスンを無料で提供していたことがある。レッスン費用の支払いが難しい家庭のお子さんでも、市から補助が出て映像や音楽のレッスンを受けられるような仕組みがあるといいのだが。



地域連携●年齢問わず、幼児から80代の高齢者の方まで、地域の方々に向けた音楽スクールを開いている。

## ロザルバの楽しいイタリア語

活動場所 ● プラムジャム『ごぜん塾』 ほか

代表 ● ロザルバ・ディ・メリオ

活動内容 ● 講師は国立在住 28 年。イタリア南部、観光客がたくさん訪れるイスキア島生まれ。「ひらがな」に魅力を感じて大学で日本語を学んだ後、来日。主に「旅に使えるイタリア語」をテーマに、会話中心のテキストを用いて、イタリアの文化背景も学ぶ。難しい文法は日本語で説明も。『ごぜん塾』では第 1・3 土曜日 10:00 ~ 12:00。初級と中級レベルに分かれて学ぶ。

## くにたち社協（社会福祉法人 国立市社会福祉協議会）について

くにたち社協は、国立市がどうしても住みやすい街になるのかを、福祉の側面から考えて、地域のみなさんと一緒につくっていく民間の組織です。

「福祉」とは、世代や背景を超えて、だれもが求めていく幸せな暮らしのこと。社協はそのための事務局として、全国それぞれの自治体に設置されています。

くにたち社協には、困ったときに気軽に相談できる窓口があり、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）が常駐。ひとりぼっちではなくつながりが生まれるように、さまざまな人に会って交流する場づくりも応援しています。

社協が実施する事業には、国立市ボランティアセンター（P33 参照）もあります。誰かのお困りごとを「自分ごと」として考える。そんな方には力を発揮できる場になるかもしれません。



隔月（奇数月）発行 全戸配布の広報誌『まごころ』

### くにたち福祉会館

国立市富士見台 2-38-5

電話 ● 042-575-3226

公式サイト ● <https://www.kunitachi-csw.tokyo/>

営業時間 ● 事務所：8:30 ~ 17:00

貸出施設：9:00 ~ 22:00

休館日 ● 事務所 / 祝日、年末年始

貸出施設 / 毎週火曜、祝日、年末年始





## 子育て ● 14 団体

### NPO 法人 くにたち農園の会

所在地 ● 国立市谷保 5119

代表 ● 小野 淳

認証年月日 ● 2016年12月5日

公式サイト ● <https://hatakenbo.org/>

活動分野 ● 社会教育／まちづくり／観光／農山漁村・中山間地域／学術・文化・芸術・スポーツ／環境の保全／地域安全／子どもの健全育成／連絡・助言・援助



活動の目的 ● 広く一般市民を対象として、都市農地を活かした多様な活動を推進する。都市農地を活用した活動を通して都市農地の価値を高め、結果として「農のある都市」「農が身近にある暮らし」を実現させることを目的とする。

活動の概要 ● 都市農業と子育ての新しいかたちを模索して、多様なプロジェクトを展開する。まちなかに残る貴重な農地や用水、里山の自然環境を活かして、畑作・稲作体験や乳幼児の野外体験、動物とのふれあいなど、子育て支援を中心に各種イベントを企画。国立市内外から多くの参加者を引き寄せ、都市農地の魅力、その価値を高めている。

コミュニティ農園『くにたち はたけんぼ』（グループ貸し農園や放課後クラブニコニコも含む）、田畑とつながる子育て古民家『つちのこや』（やばろじ内）、ゲストハウス『ここたまや』、シェアスペース『畑の家』さらに、2020年からは認定こども園『国立富士見台団地 風の子』を運営。

現在の課題 ● 活動拠点である田畑の存続（相続などで住宅開発の可能性がある）。

多事業にわたって拡大してきた組織のまとまり感の醸成。

国立市への要望 ● 学校に行っていない小中学生向けの『フリースペースはたけんぼ』を週3日開催、毎年不登校者数が過去最多を更新という現状のなかで、学校との連携、公的予算を使つての学校に行っていない児童生徒向けの学びや育ちを担保する取り組みに目を向けてほしい。

地域連携 ● 一橋大学学生サークル『たまこまち』と連携してゲストハウス『ここたまや』を運営。

富士見台第三団地集会所にて毎月『風の子キッチン』として給食を提供、団地自治会などを通し宣伝し参加を呼び掛けている

### NPO 法人 くにたち冒険遊び場の会

所在地 ● 国立市富士見台 3-5-14

代表 ● 中山隆志

認証年月日 ● 2013年11月30日

Facebook ● [www.facebook.com/kunitachi.asobiba/](http://www.facebook.com/kunitachi.asobiba/)

活動分野 ● 子どもの健全育成

活動の目的 ● 子どもたちが人や自然との関わりの中で、「遊び」を通して生きる力を身につけ、豊かに成長するための体験ができる場を提供する。

発足の経緯 ● 児童館が市民向けに冒険遊び場講習会を行い、その後『くにたち冒険遊び場をつくる会』を組織、他の自治体の『冒険遊び場』の先輩たちを講師に、その後も勉強会を重ね、月1回、市民とともに谷保緑地や第三公園などで10年活動してきた。



担当職員の退職を機に市民の会をNPO法人化、市から運営委託を受けて週1回、城山公園で開催。知識や経験を持つ大人や学生など10人あまりでスタート。現在は13人の会員がその時々に入れ替わり従事。

**活動の概要** ● 毎週日曜 10:00～16:00。谷保の城山公園にて開催。参加無料。

大きなブランコ、V字ロープ、ネット、ボルダリング、ハンモック、滑車ロープ、ロープクライミング、木工作、フリスビー、昔遊びの道具、バドミントンなど遊べる遊具を準備。子どもたちがからだをつかって遊べる場所を提供している。各遊具は、支えのロープを二重にするなど安全に配慮している。

また、かまどをつくり、焼き芋やお昼づくりを参加者ができるようにしている。炭火でパンやピザづくりの行事も行う。火を焚くことができるのは、市内では貴重な場所である。

さらに季節に合わせて夏はウォータースライダー、秋には木の実工作やリースづくり、冬は火おこしチャレンジなども。遊び場に泊まるキャンプや、子どもたちとつくる遊び場祭りも大きな行事の一つ。

**現在の課題** ● 遊具のセッティングに毎回1時間かかる。それが常設の他地域の場所と違う大変なところだが、北側に樹木があり南に府中用水があり（水が流れるのは夏場だけ）、火もつかえるので、今のところ、週1回の開催では市内ではここが最適だと考えている。将来的には常設化が課題。また野外遊具の保守点検や交換など、引き続き安全管理も必要だ。広報はFacebookとインスタで報告やスケジュールなどを掲載。公立の小学校で毎月配布している『児童館だより』にも予定を掲載している。

中高生がなかなか参加しないことや、後継者の養成、参加者の充実が今後の課題である。

**地域連携** ● NPO法人くにたち農園の会 週1回の『つちのこ広場』に遊具を提供。

## NPO 法人 国立子育てティエラ

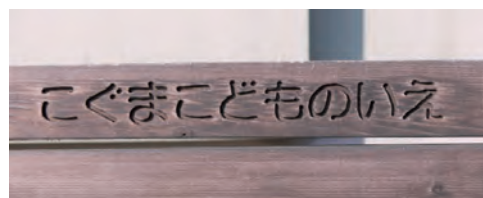
**所在地** ● 国立市谷保 6897-12

**代表** ● 薮田圭以子

**認証年月日** ● 2005年6月21日

**公式サイト** ● <http://www.koguma-kodomo.jp/>

**活動分野** ● 保健・医療・福祉／男女平等参画社会／子どもの健全育成



**活動の目的** ● 児童福祉法にもとづき、子どもたちの乳幼児段階からの心身の健全な発達をめざし、子ども自身が楽しい集団生活をおくれるような保育事業等を行う。また広く一般市民を対象に、切実に求められている仕事と子育ての両立のための子育て世帯の応援とともに、すべての子どもたちの健やかな成長のために、地域で手をつなぎあって、子どもの最善の利益を尊重した、いっしょに子育てしていけるまちづくりに社会貢献することを目的とする。

**活動の概要** ● 託児所として1979年に開園。当時は無認可保育園として『こぐまこどものいえ』を運営。0歳から2歳までの乳児（現在は27名）。保護者の事情によって朝7時から18時まで（延長は20時まで）。園ではとくに、食についての細かい配慮や、紙おむつではなく布おむつ（洗濯は有料で引き受け）を使うなど、感受性の豊かな幼少期を大切に見守る。



## NPO 法人 子ども大学くにたち

所在地 ● 国立市北 1-7-23

代表 ● 稲葉茂勝

認証年月日 ● 2019年6月27日

公式サイト ● <https://www.cu-kunitachi.or.jp/>

活動分野 ● 社会教育 / 子どもの健全育成



活動の目的 ● 主に地域の子ども達に対し、各分野の専門家等に

よる授業、講演等の高等教育を行うと共に、子ども大学に関する書籍等の企画・発行による地域社会への普及啓発を行うことを通して、子ども達の学びに対する意欲の向上や職業意識を芽生えさせることにより、子どもの健全な育成及び社会教育の推進に寄与することを目的とする。

活動の概要 ● 国立市内の子どもたちに向けて、SDGs をカリキュラムに据えた授業を実施し、SDGs の普及活動をおこなう。人生や自然や社会現象など、あらゆることに「なぜ、どうして」と疑問をもつ子どもたちに、その道の専門家や大学教授が豊富な経験や専門知識によって解説する。『子ども大学くにたち』の授業の企画・運営に加えて、SDGs 全国子どもポスターコンクールの開催など。

現在の課題 ● 子ども大学くにたちの授業を開催する場所の確保に苦慮している。

## 一般社団法人 リング・リンクくにたち

主な活動場所 ● 国立市富士見台 1-7-1 プラムジャム 他

代表 ● 小野 円

法人設立年月日 ● 2012年4月16日(活動開始 2006年4月15日)

公式サイト ● <https://kunichan.org>

活動分野 ● 子どもの居場所 / 異文化交流 / 学習支援



活動の目的 ● 地域に住む子どもたちが、多様な文化背景や人生経験を持つ人々と交流し、自他ともに尊重することを学ぶ場を提供する。家庭・学校とはまたちがう、自分らしくホッとできる場で生きる力を身につけることを目的とし、地域の人々が知恵と力を出し合いながら活動を支えている。

活動の概要 ●

・子どもの居場所、駄菓子や「くにちゃん」(毎週土曜 13:00 ~ 16:00)

・外国にルーツのある子の学習支援(毎週金曜 15:30 ~ 17:00)

・地域の子の学習支援(毎週月曜 16:00 ~ 20:00)

・その他、子どものためのイベント等 開催(ポニーとの無料ふれあい体験、親子味噌づくりなど)

駄菓子や「くにちゃん」では、駄菓子を買わなくても隣接の室内で遊ぶことができる。元小学校教師や現役大学生など有志のボランティアスタッフが子どもたちを見守っている。

現在の課題 ● 次世代スタッフの育成と定着、またそのための資金確保。

地域連携 ● 国立市健康福祉部福祉総務課 / 国立市子ども家庭部児童青少年課 / 国立市社会福祉協議会 / くにたち地域コラボ / NPO法人 くにたち農園の会 / NPO法人 くにたち富士見台人間環境キーステーション (KF) / 多摩棕櫚亭協会 等

## 一般社団法人 日本学習支援協会 パワーアップ塾

所在地 ● 国立市東 3-19-14-201

代表 ● 木村友昭

設立年月日 ● 2023年5月10日

公式サイト ● <https://www.powerup19.com/>



**活動の内容** ● 国立市東で無料の学習支援 & 子ども食堂を開催。パワーアップ塾は、経済的事情や家庭事情、発達や学習障害などにより不登校や学習塾に通うことが難しい小学生、中学生、高校生を対象に、対面授業にて1対1の完全個別の家庭教師指導をベースに行なう。

長年、家庭教師や社会人として培った経験を生かし、勉強が苦手という子どもにも合わせた、教科書理解から遊びまで交えた時間を提供している。

「勉強や部活はもちろん、遊びやゲームも自由に楽しみたい！」そんな子どもたちの思いを、パワーアップ塾は学習面、食事面からサポート。今後、オンライン授業の導入も検討中。

**現在の課題** ● ボランティア不足

**地域連携** ● 国立市 / 国立市社会福祉協議会

## かたかた ことこと 風のへや

所在地 ● 国立市青柳

代表 ● 武田陽子

公式サイト ● <https://r.goope.jp/katakoto-kaze/>

**活動の概要** ● 乳児保育に31年携わってきた元保育士が、0～2歳児向けに質の高いおもちゃを用意して、地域の親子向けに心地の良い空間をつくりだす。現在は出張『かたかたことこと風のへや』として月例会、つちのこや、助産師・整体師のゆるっとおしゃべり会、矢川の子がも食堂、ホットフードサポートなどにおもちゃを持参して行っている。



**現在の課題** ● 産後から1歳半くらいまでの母の不安は、出張『かたかたことこと風のへや』に行っても感じる場所。相談に行くことも難しい、家にもりがちな親子が安心して立ち寄れる場所が市内に複数必要です。具体化を考えたい。

**国立市への要望** ● 商店街の中に、畳2畳分くらいでも良いので上記のような親子がちょっと立ち寄れるスペースを作れないか？

**地域連携** ● つちのこや / 矢川の子がも食堂 / ホットフードサポート 矢川

## ガールスカウト東京都第145団

主な活動場所 ● 国立市公民館ほか

代表 ● 荒木和代

Facebook ● <https://www.facebook.com/girlscoutstokyo145/>

**活動の内容** ● イギリスで始まったガールスカウトは、現在152余の国と地域で1000万人の会員が活動している社会教

育団体。就学前1年～高校生までの少女が、自ら考え行動できる人になれるよう、社会の一員として必要なことを、体験を通して学んでいく。

**現在の課題**●入団するスカウトの数が年々減っている。活動の良さをたくさんの人に知ってもらいたい。

**地域連携**●さくらフェスティバル、ファミリーフェスティバル、まと火、ふれあいスポーツのつどい、市民まつり、クリーン多摩川、どんど焼きに参加



## Qolorful (カラフル)

**活動場所**●国立市

**代表**●谷村麻誉

**Instagram**●<https://www.instagram.com/qolorful23/>

**活動の目的・内容**●子どもたちの小さくなった洋服、使わなくなったおもちゃや育児グッズなどを、必要な方にお譲りするイベントを企画・運営。使える物を捨てない、というリサイクルやエコを意味するだけのイベントではなく、子育て世代の出会いの場、情報交換の場となるような顔の見えるやりとりを大切にしている。忙しい毎日の中でも、子育ての仲間がたくさんいることを感じてもらえたり、ほっところあたたまる時間を過ごしてもらえたりするような、生活の彩となるイベントを目指して活動中。

**現在の課題**●たくさんの方に知ってもらい利用していただけるよう、主にSNSを利用した広報活動について研究している。

## カワセミ塾

**所在地**●国立市

**代表**●池田真澄

**公式サイト**●<https://kawasemijuku.amebaownd.com>

**メールアドレス**●[kawasemijuku@gmail.com](mailto:kawasemijuku@gmail.com)

**活動の目的や概要**●

2023年4月国立市矢川にできた無料塾。『ヤガワセミナー』を略して『カワセミ塾』。

「授業がよくわかるようになりたい」「宿題やワークがわからない時にすぐに聞きたい」「進路のことを考えて勉強したい」そんな小中高生の気持ちに

えられるように、子どもたちが安心して過ごせて自分に誇りと自信を持てるように、学習を通じて物事を自分で考え自立できるように、手助けをしたい。

①毎週金曜、小学生は16:00から、中学生は18:00から。会場は主に『矢川プラス』

②学習内容は基本的に生徒が持参する教科書・ワーク・宿題など。事情によって塾側で用意。小学生は学習だけでなく、遊びも含む。

③講師は元教員、社会人、学生など現在10数名。随時募集中。

**現在の課題・国立への要望**●現在の場所は申し込み制で予約できない場合もあり、安定して利用できる場所があればと思う。

**地域連携**●矢川のこがも食堂



## くに comm (くにたちコミュニティ)

活動場所 ● 国立市

代表 ● 生原祐美子

公式サイト ● <https://kunicomm.my.canva.site/hp-comm>

公式 LINE ● @370obyxp

Instagram ● <https://www.instagram.com/kuni.comm/>

YouTube ● <https://www.youtube.com/@kunicomm>

**活動内容** ● 国立市を拠点に、お子さんの学校の行き渋りや不登校、発達凸凹の心配などの悩みをゆるーく語る『くに comm』(くにたちコミュニティ) おはなし会を開催。おはなし会では、解決策をアドバイスするわけでないけれど不安や悩みを一緒に語り合うことで「ちょっとスッキリした」と思ってもらえる時間を提供している。

『ゆると語ろう』月1回 日曜 10:30～12:00 場所: プラムジャムもしくはくにたち公民館。

『ちょっくら話そう』(こどもの未来探求学習共同開催) 月2回水曜 10:00～13:00 場所: コトナハウス



**現在の課題・国立市への要望** ● どこにも繋がりがなくどうしたらよいかわからず悩んでいる方にこそ、くに comm に参加してほしい。可能ならば、小中学校のすぐーる配信のような周知や SSW や教育相談や子ども家庭支援などで、ご紹介いただけることを希望。まずは、『くに comm』の活動を知っていただく機会を作っていきたい。現在は、おはなし会のみだが、今後の活動の中で講座、講演会、ワークショップを実施していきたい。その際、参加費の負担を少なく参加できるよう助成金の申請などもしていきたい。

**地域連携** ● こどもの未来探求学習のスタッフとしても活動。近隣の立川市、国分寺市、府中市、小平市の不登校の会と情報共有。

## 国立市の助産師 野島美佳

所在地 ● 国立市

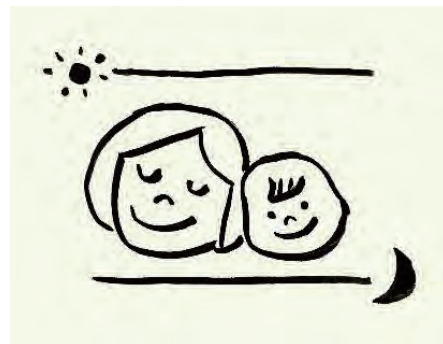
代表 ● 野島美佳

公式サイト ● <https://nojimamika.amebaownd.com/>

**活動の概要** ● 国立市を拠点に、頑張りすぎない子育てを応援する訪問母乳・育児相談室。

総合病院で NICU と産後病棟で勤務し、自身も助産院で3回出産を経験。妊娠、子育て、授乳、産後の悩み、生・性に関する悩みを訪問でサポート。訪問では普段の授乳環境をみながら母乳やミルク量のアドバイスができる。産後早期は特に骨盤回復のため訪問型ケアが適している。お父さんもおばあちゃんも参加可能。

・月～金曜 9:00～16:00 (最終予約時間 15:00)



**現在の課題** ● 移動距離なども考えると1日に対応できる人数が限られている。行政や他の助産師とも連携しながら、よりよいケアが提供できるようにしていきたい。また国立市が行っている産後ケア事業に参加し、母乳育児を希望しているお母さんが利用しやすい料金で痛くない乳房ケアを提供し寄り添っていきたい。

**地域連携** ● ひらや照らす『産前産後のいどばたカフェ』/コトナハウス『くにたち保健室のつどい』/藍整体『助産師・整体師・保育士によるおしゃべり会』/かたかたことこと風のへや など



## 子育てサロン ぱーくんち

所在地 ● 国立市東4丁目

代表 ● ながのてるこ

公式サイト ● <https://pakunchi2015.wixsite.com/pakunchi>

メールアドレス ● pakunchi2015@gmail.com

**活動の概要** ● 0～2歳児の母子を対象とした子育てサロン。幼稚園教諭、子育てアドバイザー、おもちゃコンサルタント、保育士資格を持ち、子育てにまつわる経験・知識が豊富な女性が自宅の一室を開放。手作りおもちゃが豊富で、子育ての相談や季節ごとのイベントも開催。

会員制だが、入会無料。1回利用500円（回数券あり）

開室は月火木金／10:00～16:00（冬は～15:30）要予約・貸切利用可



## りんごのほっぺ科学あそび教室

活動場所 ● 国立市

代表 ● 井龍あい子

メールアドレス ● [ringo.hoppe.science@gmail.com](mailto:ringo.hoppe.science@gmail.com)

Instagram ● <https://www.instagram.com/ringo.no.hoppe.science>

**活動の目的や概要** ● 子ども向けの科学あそび教室。日常生活の中にある科学をあそびを通して体験することで、子ども達の「いつもの暮らし」がなんだか少し楽しくなったらいいなという思いで、活動している



**現在の課題** ● 「子どもの居場所」にもなれたら、と国立市の子ども居場所事業としても活動しているが、居場所となれる「場所」を谷保のネオおばあちゃん家のほかにも持てたら、と考えている。

**国立市への要望** ● 空き家バンクを作って欲しい。

**地域連携** ● 谷保のネオおばあちゃん家／ママもわたしも楽しむ親子のひろば まちのこ



## 居場所づくり ● 5 団体

### 絆の会

所在地 ● 国立市中 1-11-30

代表 ● 大井利雄

公式サイト ● <https://kizunanokai-kunitati.jimdofree.com/>

**活動の概要** ● 毎月、地域ケア関連情報や福祉系を中心に市内外サークル、地域サロン、各種イベント情報を紹介する『絆だより』を発行。高齢者居場所ガイドも制作。

『絆だより』の制作は、情報収集から印刷発行まで、代表をはじめメンバーがボランティアで活動。世代をこえて助け合いながら、安心して暮らし続けられるまちづくりのため、継続して組織の壁を横断して情報収集し、横の展開を図る。

**現在の課題** ● 継続発行のための資金繰り。活動の知名度アップ。掲載している活動団体との連携向上（ひらや照らすサロンによる情報共有の推進）。高齢者居場所ガイドの更新と大人の居場所（くにペディアの大人版）を市、社協と協力して作成したい。

**国立市への要望** ● 『絆だより』の記事とフットワークを協力して活かしたい。

**地域連携** ● 国立市高齢者支援課 / 国立市社会福祉協議会 / ひらやの里

### 蔵松屋 ～谷保のネオおばあちゃん家～（通称：ネオおば）

所在地 ● 国立市富士見台 1-47-3

代表 ● 日下竹彦

メールアドレス ● [neo.yaho.bba@gmail.com](mailto:neo.yaho.bba@gmail.com)

インスタグラム ● <https://www.instagram.com/yaho.neo/>

#### 活動の目的や概要 ●

・駄菓子屋を軸に、地域でものづくりをしている方の雑貨販売や、演奏会等各種イベントをきっかけとして、子どもやその保護者等との関わりしるを増やし、福祉の匂いのしない「まちの寄り合いどころ」の形を模索していく事。

・古き良き日本の風習やものづくりの文化を、新しく再定義していく事。

・主に水曜、週末等にオープン（インスタグラムにて予定表を随時更新）。畳屋であった空き店舗を再生し、土間と縁側、小上がりの畳の部屋がある。日下の実家「おばあちゃん家」をコンセプトとしている。

#### 現在の課題 ●

・新しい福祉事業を展開していく上での運営資金の調達、施設整備。

・広報、アウトリーチの模索。

**地域連携** ● 国立市（子ども家庭部、まちの振興課、社協、地域包括、駅周辺整備課、スクールソーシャルワーカー等） / 公立小学校 / 国立三中OB吹奏楽団 / 下谷保町内会 / 高級美術表装森久保 / りんごのほっぺ科学遊び教室 / お米のカイロ PoccaPocca（国分寺） / tatami.boy（府中）



## コトナハウス

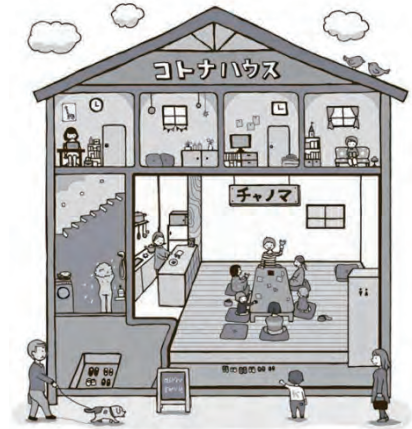
所在地●国立市富士見台 1-8-38

代表●鈴木幹雄

公式サイト●<http://kotonahouse.com/>

**活動の概要**●富士見台の商店街ダイヤ街にあるシェアハウスの1階リビングを使って、地域の子どもと大人がつくるコミュニティ『チャノマ』を運営。住人、会員、ご近所さんが集う居場所。「子どもと大人が学び合う」に共感した会員たちと一緒に、学校でも塾でも会社でもない安心して過ごせる時間を楽しむ。子ども食堂『ぐるぐる食堂』（第1、3日曜昼）、こどもの未来探求学習（毎週水曜 10:00～13:00）、こども英会話など開催。

地域連携●小鳥書房



## ひらやの里

所在地●国立市富士見台 2-38-12

代表●三好紀子

Facebook ● <https://www.facebook.com/hiraya.terrace/>

**活動の概要**●国立市が所有する富士見台二丁目の遺贈土地・建物『ひらや照らす』の運営を担う。市に寄贈された故・吉川照子さんの「老人福祉の目的で利用」「建物や樹木を可能な限り現状のままです」という願いを継承しつつ、「誰でも気軽に立ち寄れる」いこいの場、遊びの場、学び合いの場、出会いの場を提供することを目指している。

オープンは毎週水・木・金・土曜 10:00～16:00。運営は有志のメンバーが担い、さまざまな団体との連携で、百歳体操、産前産後のいどばたカフェ、おれんじメモリーカフェ、クリン照らす（周囲のごみ拾い）などを開催、赤ちゃんから高齢者までが集う居場所になっている。

**現在の課題**●会員は高齢化しているが、若い世代が加わってくれ勇気づけられる。さらに多世代、多文化共生の居場所づくりを進めたい。

**国立市への要望**●市民がボランティアで運営するため、発生する困りごとに理解を示し、応援してほしい。

**地域連携**●絆の会／くにたち地域ケア／社会福祉協議会／YMCA／NHK 学園高校／第五商業高校／NPO 法人 World Cleanup Day JAPAN／フレイルを測定する会／子ども食堂おいしいじかん／神の国寮／多摩棕櫚亭協会など



## まんまのま

所在地●国立市東3-19-14 飯村アパート 203号室

代表●吉田了介・吉田文子

公式サイト●<http://bdweb.jp/manmanoma/>

メールアドレス●[twnet@festa.ocn.ne.jp](mailto:twnet@festa.ocn.ne.jp)



活動の目的●多世代の地域交流や子育て支援

活動内容●2021年夏に国立市社会福祉協議会「くにたちまごころサロン」に登録して現在まで、毎月第2土曜にボードゲーム交流会、毎週水曜午後にまんまのまのまっく（印刷デザインスキル勉強会＝現在までに地域情報誌『東くにっこ通信』の制作を7回、冊子制作など）を行なう。2022年夏より16ミリフィルム映写機などによる上映会を、くにたち公民館や東福祉館にて4回開催し今後も年数回継続予定。

ほかに体のことを探る場『気づきごっこ』、育休中の乳児親子交流会『よしよしママの会』。

子育て応援として親子交流会『ピリブくらぶ』や個別の食事会、子どもの預かり保育なども行なう。

多世代の交流で無料喫茶『まんまのま茶房』なども企画して活動を模索中。上記の活動は全て参加無料。

必要に応じて少人数の部屋貸しなどもしている。

現在の課題●知り合いなどを通じて少しずつ輪を広げ、友人知人に手伝ってもらって活動を継続できているが、あくまで個人的な活動で、古い木造アパートの2階の一室（6畳）なので限界がある。

国立市への要望●意外と知られていない居場所や活動が多くあるので、地域の枠を越えて、いつどこで何がやっているのか一目で分かる情報を国立市のサイトでリンクしてもらいたい。

地域連携●国立市社会福祉協議会（情報交換など）／引きこもり当事者会『からふらっと』（一部メンバー）／ぺんぎんサロン（地域情報誌『東くにっこ通信』の制作や情報交換）／パワーアップ塾（アパートの隣部屋で活動協力や支援）／国分寺市のポスティング業者『なみき宅配』に無償でのチラシ配布

## 創業支援・コミュニティビジネス ● 5 団体

### 一般社団法人 眞山舎（さなやまや）

所在地 ● 国立市富士見台 1-7-1-102

代表 ● 土屋一登

法人番号 ● 6012805003162

公式サイト ● <https://www.sanayamaya.org/>

メールアドレス ● [info@sanayamaya.org](mailto:info@sanayamaya.org)



活動テーマ ● 「わたし」が幸せを感じられる暮らし

活動の目的 ● 天長地久に続く活力ある地域をつくる

使命 ● 地域における NPO 活動の持続性向上と活性化

活動内容 ● 他団体・他者との協働推進事業を複数運営。2023 年度は、「キョウドウを生きる暮らし」を事業のビジョンに掲げ、文部科学省令和 5 年度「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」を当法人が受託し、「リカバリーの学校@くにたち」を運営。当該事業において、当法人は事務局、事業評価、中長期戦略等の役割を担っている。

また、NPO 法人等の非営利団体を対象に「対話型相談」を行なっている。「対等性」、「双方向性」、「偶発性」を重視した対話を通じて、活動の「価値の発見・再発見」、「優先課題の設定」、「思考の整理」などを行なっている。その他、NPO や行政（川崎市等）主催の講座にて講師を務める。「ローカル NPO のファンドレイジング」の講義や実践事例等が好評。

現在の課題 ● 事業：事業評価及び改善。事業（特に、リカバリーの学校@くにたち）が、「参加者にとって本当に意味のある場になっているのか」をシビアに評価し、次年度以降の事業改善に活かすこと。

組織：代表の業務負担軽減。後手に回ってしまう業務があるため、代表の業務負担軽減を通じてスピード感のある組織運営をすること

財務：キャッシュフローの改善。収入増により法人としての体力を上げ、中長期的な展開に備えたい。

地域連携 ● 国立市公民館（『リカバリーの学校@くにたち』における連携団体）／一般社団法人たまぶらねっと（『リカバリーの学校@くにたち』における協力団体）／くにたち地域コラボ（役員）

### 株式会社 DelQui（おへそキッチン）

所在地 ● 国立市富士見台 1-26-14 布施川ビル 1F

／国立市富士見台 1-17-25 VIP ビル B1F

代表 ● 小野 円

公式サイト ● <https://ohesokitchen.com/>

活動分野 ● 会員制シェアキッチン・食に関する事業コーディネート等

活動の概要 ● 保健所の営業許可のある業務用シェアキッチン『おへそキッチン』を運営。会員になると、お菓子やお弁当の製造販売、キッチンカーや出張料理の仕込み等の利用ができる。谷保駅近くに《チカバ》《ツインズ》の 2 カ所 3 部屋稼働中。

《チカバ》のフリースペースは、貸切の試食会や料理教室等に利用できるほか、商材写真の撮影に使える LED ライトや背景紙の貸し出しなどサービスも充実。

キッチンや工房の立ち上げサポート、販路の紹介、販促イベントの開催も随時行っている。



現在の課題 ● 会員が作る商品の販路を拡げたい。

地域連携 ● 利用会員が製造したお菓子やお弁当を市内店舗・イベントにて販売。くにたち社協内『喫茶わかば』でのランチ提供、焼菓子販売も。

## CESA くにたち

所在地 ● 国立市東 1-4-6 国立商協ビル 2F (SOHO プラザ・ハニカム内)

代表 ● 菱沼勇介 / 事務局長：間瀬英一郎

設立 ● 2011 年 4 月

公式サイト ● <https://cesakunitachi.com>

メールアドレス ● [info@cesakunitachi.com](mailto:info@cesakunitachi.com)



活動の概要 ● 国立市の多様な資源を活用した新事業の創出による地域活性化を目的として、地域におけるプロジェクトの立ち上げやコミュニティビジネスに取り組む起業家の支援活動を行っている民設民営の中間支援組織。

地域連携 ● 支援活動対象者に応じて、適宜、適した地域のステークホルダーと連携している。

## SEEDPLACE

所在地 ● 国立市東 1-15-11 448 ビル 3F

代表 ● 佐々木暢也

公式サイト ● <https://seed-place.com/>

活動の概要 ● 利用者同士・まちの人同士の交流を育むシェアオフィス。

利用者がシェアオフィスを利用するだけでなく、スタッフが常駐し、交流会、事業支援相談なども実施する。利用者のニーズに合わせたプランが豊富。定額利用のほか、スポット利用も可。木製品販売などを手がける『株式会社天地林』が、国立市内の事務所をシェアオフィスとして開き、運営を行っている。



創  
業  
支  
援  
・  
C  
B

## 富士見台トンネル

所在地 ● 国立市富士見台 1-7-1 117 号室

代表 ● 能作淳平

公式サイト ● <https://fujimidaitunnel.com/>

活動の概要 ● 富士見台第一団地の『むっさ 21 商店街』で、若手建築家の能作淳平氏が手がける、地域の方が日替わりで出店できるシェア店舗スペース。起業やダブルワークなど多様な働き方を支

える。出店者は地域の方を中心に、中華おこわ、おはぎ屋、ピオワインバル、ハイボールバー、中近東のスイーツ、お灸と漢方茶など多種多様。建築業界や地域のコネクションから、建築やまちづくり関係のイベントも行われる。





## 地域経済 ● 4 団体

### NPO 法人 おまかせハウスワーク

所在地 ● 日野市東豊田 1-23-16

代表 ● 野口真宏

認証年月日 ● 2010年9月30日

公式サイト ● <https://housework.jimdofree.com/>

活動分野 ● 保健・医療・福祉／連絡・助言・援助

活動の目的 ● この法人は、高齢者・障害者等に対して、補助支援を目的とした家事代行業を展開しこの事業を通じ、社会等に寄与することを目的とする。

活動内容 ● 保健・医療・福祉／連絡・助言・援助家事・用事代行。高齢者・障害者等のお困りごとに（除草作業・清掃作業・買い物代行等）に関しなんでも承ります（なんでもご相談ください）

### NPO 法人 くにたち農里MEM

所在地 ● 国立市青柳 2-26-15

代表 ● 遠藤孝志

認証年月日 ● 2021年2月4日

公式サイト ● <https://www.kunitachinorimem.jp/>

活動分野 ● まちづくり／農山漁村・中山間地域／環境の保全／子どもの健全育成

活動の目的 ● 国立市や近隣の景観整備を促進する事業、農産物の販売促進や良好な地域環境を必要とする人に対して、良好な環境の整備、産物や特産物の販売支援及び相談に関する事業を行い、地域社会の農業振興や地域環境の増進に寄与することを目的とする。国立市の文化を継承し、さらに発展する事業を行う。

### ニッポー設備 株式会社

所在地 ● 国立市谷保 619

代表取締役 ● 田中友統

公式サイト ● <https://www.nippo-setsubi.com>

経営理念 ● 「地域社会お客様に、必要とされ、満足させ、それを喜びとし、責任と自覚をもって、会社、社員、家族の生活向上を目指す」をもちに本業にて利益を上げながらボランティアとして地域を良くしていきます。

※本業とは、給排水設備工事、空調設備工事、リフォーム他を指す。

現在の課題 ● 若手社員の育成

国立市への要望 ● 公共工事をできるだけ地元企業へ発注いただきたい。また、市における工事管理業務の進め方をDX化して欲しい。

地域連携 ● 国立市商工会など



## 国立中村園

所在地●国立市

代表●中村早緒理

メールアドレス●nakamura968v@gmail.com

活動の目的や概要●国立市の認定新規就農者。ナスやコマツナなどの露地野菜を生産し、主に国立市近隣で販売中。畑では野菜の直売も行っている。(Google マップ上『国立中村園』で検索!)

現在の課題●野菜生産に必要な農地の確保や生産技術の向上。



国立中村園

### 「つなぐ、ひろげる、つくりだす」国立市ボランティアセンター

地域でボランティア活動をしたい方の相談や登録、またボランティアを募集している施設・団体とのマッチングも行っています。「夏！体験ボランティア」(例年7～8月)やボランティア入門講座も開催しています。ご相談はお気軽にどうぞ。

また市内の小中学校や高校の教育現場では、年間を通して「福祉体験授業」を行っています。この授業では、車いすや盲導犬ユーザーの方々による講話などを通じて、子どもたちが福祉について考える機会をつくっています。

さらに、多くの市民が制作に参加した『くにたちカルタ』は、地域を知ることのできる楽しい郷土カルタです。大会イベントの開催や公式審判員養成講座には、国立市ボランティアセンター運営委員会を始めとする多くのボランティアが関わっています。地域活動のきっかけとしてもご活用ください。

2024年には、災害ボランティアセンターを設置・運営するためのマニュアルを更新します。「くにたち災害ボランティアセンター」は、国立市で万一災害(地震や風水害など)が発生した場合に、臨時・応急的に立ち上がるボランティアセンターです。災害に備えて今後、市内でも立ち上げ訓練を実施する予定です。

#### 国立市ボランティアセンター

電話●042-575-3223

FAX●042-580-7112

公式サイト●<https://kunitachi-vc.org/>

Facebook●<https://www.facebook.com/kunitachivc/>

X●@Kunitachi\_VC

LINE●



小学校での車いす体験授業

## 環境 ● 7 団体

### 認定 NPO 法人 バードリサーチ

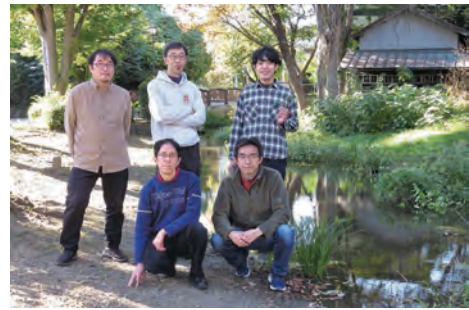
所在地 ● 国立市東 1-4-28

代表 ● 植田睦之

認証年月日 ● 2004 年 8 月 31 日

公式サイト ● <https://bird-research.jp/>

活動分野 ● 学術・文化・芸術・スポーツ、環境保全  
情報化社会の発展、科学技術、NPO 支援



活動の目的 ● 環境の改変により、絶滅したり急減したりした種が増えている。またその反面、一部の種は個体数を回復あるいは増加させ、

人間活動との軋轢が生じ、その解消が社会的に求められている。このような問題を解消し、人間と自然が共存できる社会を構築するためには、各生物種の分布や生態といった基礎的な情報を収集して現状を把握し、有効な対策を検討していく必要がある。そのためにバードリサーチは、アマチュアの観察者を含めた多くの人々が参加して、基礎的な情報を収集・集約していく活動を行っている。

#### 活動の概要 ●

- ・全国約 3000 名の会員による参加型の野鳥調査により野鳥の数や分布の変化を調べている。
- ・ウグイスの初鳴きやツバメの初認など初心者でも参加できる調査から、すべての鳥を記録するような上級者向けの調査まで、多様な調査内容がある。
- ・国や自治体の委託事業では、全国の野鳥のモニタリングや、人と野鳥の軋轢を減らすための活動などを行っている。
- ・野鳥についての新しい調査手法の開発や、教育活動を行っている。野鳥は日本に約 600 種がいて、ボランティアで調査できる人も多いので、全国的な環境指標として好適な生き物である。

現在の課題 ● 事業を継続していくための人の募集と育成。

国立市への要望 ● 地域に残る自然の大切さや、そこに生息する生きものに目を向けて、自然環境保全を助けてもらいたい。

地域連携 ● 国立駅と旧駅舎で、バードリサーチが作成したツバメのフン受けを設置して、ツバメの子育てを受け入れてもらっている。NPO 法人くにたち富士見台人間環境キーステーション と連携し、国立市民の方を対象にした野鳥観察イベントを開催。

### NPO 法人 輝く未来の風

所在地 ● 国立市中 3-2-24 北島第4店舗3F

代表 ● 原田昭夫

認証年月日 ● 2003 年 8 月 7 日

公式サイト ● <http://www11.plala.or.jp/wbf/>

活動分野 ● 社会教育 / 環境の保全 / 国際協力



活動の目的 ● この法人は、美しい地球環境を取り戻し、将来にわたり人々が持続可能な社会で共生出来ることを目指して、市民や地域が主体になった省エネルギー活動の推進と再生可能な自然エネルギーの導入、普及、及びその為に必要な社会制度や政策に関する提言をし、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

活動の概要 ● 2003 年に NPO 法人設立後、長野県朝日村で風力発電、2013 年には千葉県南房総市で太陽光発電事業を、発電施設設置自治体との交流や、脱原発や再生可能エネルギー普及、省エネルギー生活などの啓蒙事業を 20 年に渡り実施してきた。その一環として『3.11 大震災復興支援チャリティーコンサート』を 2019 年までは国立市民芸小ホールにて毎年開催してきたが、コロナ禍で他の集会参加も含め対面活動は中止、縮小を余儀なくされ大きな影響を受けた。2022 年秋、会員の意見を集約し今後の活動計画を決定した。これまでの啓発活動、会報を継続し 2023 年からチャリ

ティーコンサートを再開する一方で、既存太陽光発電事業を継続するも新たな発電事業は手がけず風力発電機は希望者への寄贈を検討する。また、活動を継続するための人材を求める努力を続ける。

#### 現在の課題

会員の高齢化に伴う法人の持続可能性、後継者問題を抱えている。現状のNPO法による多くの縛りも組織の俊敏性を奪うが、合わせていくしかない。

#### 地域連携

過去にはNPO活動支援室の『くにたち市民・NPO交流会』に参加したり、公民館の依頼で講座講師を務めたこともあるが、現在は国立市内の団体との連携は特にならない。

#### 国立市への要望

事務所の賃借料の負担が大きい。民間の事務所より安く借りられるNPOのコワーキング施設を国立市の空き家活用の一施策として検討いただけないだろうか。一軒の空き家を複数のNPOがシェアすることで新たな連携や後継者問題を抱えるNPOの吸収合併など、シナジー効果も期待できると考える。

## NPO 法人 国立市動物調査会

所在地 ● 国立市富士見台 4-24-5

代表 ● 佐藤節子

認証年月日 ● 2003年3月26日

公式サイト ● <https://k-doubutucyousakai.localinfo.jp>

活動分野 ● 社会教育／まちづくり／学術・文化・芸術・スポーツ／環境の保全／子どもの健全育成／情報化社会／科学技術の振興／経済活動の活性化／連絡・助言・援助

活動の目的 ● この法人は、動植物の生態調査の実施及び市民参加の自然観察会の開催を通して、自然環境保全に関する啓発活動を行うことにより、広く市民に自然環境の大切さを訴え、自然と共生する社会を創り、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。



国立市動物調査会

活動の概要 ● 当法人の成り立ちは、教育委員会の事業として市民が主導して出版した『くにたちの小さな仲間たち』（1991年）の制作グループ『国立市動物調査会』にさかのぼる。以来活動を継続し、2003年より現在のNPO法人に至っている。1998年からは、くにたち郷土文化館と連携した『自然クラブ（年7回の連続講座）』の事業を中心に自然環境保全に関する啓発活動を現在まで続けている。他に、各市立小学校に赴き児童に夏前のプールに棲みつく生き物の調査を体験してもらう『プール生き物調査 ヤゴ救出作戦』や、城山公園にて『生態調査自然観察会』を実施してきた。このうち『プール生き物調査』は、コロナ禍の影響により小学校の受け入れが難しくなったため2020年から国立市内全小学校における活動の中止を余儀なくされている。30年近くの間には会員は入れ替わっているが、『自然クラブ』に参加した小学生が会員となるなど、常に幅広い年齢の（生き物好き）会員が在会していることは、当会の強みになっている。小学生で入会し現在遠方に在住しているOBたちが、くにたちに戻って事業に参加することもある。新たな試みとして『標本教室』を2022年から始めた。命を奪うことの重みを子どもたちに感じてもらう体験も大事と考え、本格的に取り組むことを考えている。

現在の課題 ● 『プール生き物調査』は各校で再開したいが、消耗品であるタモ網（20本）の調達費用や、会員のほとんどがフルタイムの仕事に就いているためこれら道具を運ぶ軽トラックとドライバー、平日日中の学校授業として小学生を見守り指導するスタッフの確保が課題になっている。

国立市への要望 ● 『プール生き物調査』を児童にとって有意義なものにするためには、各小学校の協力が欠かせない。近年、授業に向けたプール清掃の時期が早まっているが、水生昆虫が成長するまで可能な限り後倒しにしていればと思う。また『プール生き物調査』『標本調査』事業への資金面の支援が必要である。

地域連携 ● 教育委員会／くにたち郷土文化館／国立市水の懇談会／ママ下湧水公園の会／ヤクルト研究所 など



## NPO 法人 日本公開庭園機構

所在地 ● 渋谷区代々木 4-28-8 村田ビル 307号

代表 ● 小山伸一

認証年月日 ● 2000年9月19日

活動分野 ● 保健・医療・福祉／まちづくり／学術・文化スポーツ／環境保全／地域安全 など



活動の目的 ● 民有地の緑の保全と創出を環境保全の一環として捉え、民有地の緑の保全と創出を市民に促すために、個人や団体が所有する庭園や緑地を、所有者主催で1年のうち数日間の公開日を定めて、市民に対してチャリティで有料公開してもらい（以下「公開庭園制度」という）、公開庭園制度により庭園や緑地を見学した市民が交流して庭園知識を学び自らの造園に励むことによって、日本の市民庭園の質を向上させ民有地の緑の保全と創出を図ることを推進する事業を行い、この事業を普及させることにより民有地の緑被率を向上させ環境保全に寄与することを目的とする。また、チャリティによる公開料は、当法人で取りまとめられて福祉や自然保護活動に対して助成する。

活動の概要 ● 住宅地等安全緑化推進事業によるガーデン講習会等。（コロナ環境の為休止中）

現在の課題 ● 子育てママ世代の参加を招致することが難しい。

## くにたち桜守

活動場所 ● 国立市

代表 ● 大谷和彦

公式サイト ● <https://k-sakuramori.sakura.ne.jp/index.htm>



活動の概要 ● 国立で最も愛されている大学通りの桜並木。しかし昭和初期に植樹されてから年月が経って樹勢も衰え、環境の変化や長年、根元を踏まれたりするなど枯れたり傷ついた木が目立ってきた。そこで2000年、市民の手で桜の保全活動がスタート。今でも毎月、ボランティアでさまざまな活動を続けつつ、新しい桜の植樹も行う。

代表は市内の小学校から高校まで出向いて「くにたちの桜」について紹介する授業を担い、子どもたちが季節ごとに、桜の保全活動に参加する機会も提供してきた。その体験は子どもたちが環境について学び、まちを好きになるきっかけにもなっている。

現在の課題 ● 活動資金の不足。定例活動や広報などで大人のボランティアが減っている。

地域連携 ● 国立市ボランティアセンター、くにたち折り紙グループ、国立市商工会女性部、都立国立高校、都立第五商業高校、桐朋学園小学校・高校、NHK学園高校、未来高校、国立市立第一、第二、第三、第五、第六、第七、第八小学校、国立音大付属小学校 ほか

## ゼロエミッションを実現する会・国立（ゼロエミ国立）

代表 ● 山上真依

公式サイト ● <https://zeroemi.org/>

メールアドレス ● [zeroemikunitachi@gmail.com](mailto:zeroemikunitachi@gmail.com)

**活動の目的** ● 「地球温暖化と気候変動の進行が最悪にならないでほしい」という思いで、国立市の対策づくりを応援している市民グループ。

気候変動とは、人間の活動→地球温暖化→気象パターンの変化のことで、異常な猛暑や豪雨、干ばつなど。

国立市と日本政府が宣言した「2050年までにゼロカーボン（CO<sub>2</sub> 排出実質ゼロ）」という長期目標と、「2030年までに国立市内のCO<sub>2</sub>を6割削減」という中期目標を確実に達成するために、市内に早く再生可能エネルギーと省エネ・断熱が増えてほしいと思っている。

**活動の内容** ● 主に、①オンラインミーティング（月2～4回）と、②市内に住んでいる方と協力しながら市役所の人たちと対話。2024年は、まず市内・市外への情報発信をテーマにしている、現在やりたいことを話し合っている。

**課題** ● 市内の知り合いが少ないこと。メンバー募集中（国立市に在住・在勤・在学のいずれかの方）。「温暖化どうしたらいいの？何とかしたい」と思ったことがある方、お気軽にメールを。

#### 国立市への要望 ●

- ・市内の小中学校を、エネルギー自給できる建物（太陽光発電と断熱のZEB）に！
- ・市内の各所で気候変動対策の情報を展示したり見たり、体験できる機会を作ってほしい。
- ・気候変動対策と国立のエネルギーを話し合うための、官・民・学・企業のグループを作ってほしい。



## ちいきエナジー

**活動場所** ● 国立市

**代表** ● 篠原光一郎

**Instagram** ● [chiiki\\_energy](#)

**活動の目的・内容** ● 「ちいきに縁（エネルギー）を」をモットーに、ゴミ拾い、防災、防犯、見守り、生活支援などの実践を通じてまちづくりに取り組んでいる。2024年から『なんでも相談カフェ』を開く予定。

#### 現在の課題 ●

- ・運営資金が豊富でない
- ・広報スキルのある人材の不足
- ・30～40代の構成員が増えにくい

#### 国立市への要望 ●

- ・市内に多数あるゴミ拾い活動の実施状況を登録し、マップ等で確認できるアプリの作成に対する助成（ゴミ拾いを行う地域の重複を避けられ、より効率的に市内の美化が進むと考える）
- ・ゴミ拾い活動に必要な用具代に対する助成（トンブや手袋、夜間用のライト・電池や反射材など一定の用具代が必要。年間5000～10000円程度でも助成があれば大変助かる）

#### 地域連携 ●

- ・第八小学校（通学路見守り活動）、立川警察署（防犯見守り活動）、立川消防署（自主防災活動）
- ・ゴミ拾い活動…西地域住民のみなさん、東地域の環境改善促進会、一橋大学のサークル（国立あかるくらぶ、ア式蹴球部、澁澤塾、たまこまち）、スターバックスコーヒー nonowa 国立店



## 国際交流 ● 2 団体

### KUNIFA 日本語サポート

活動場所 ● 国立市公民館

代表 ● 池田祐子

公式サイト ● <https://kunifa-kunitachi.localinfo.jp>

メールアドレス ● bearyuko0813@gmail.com



**活動の概要** ● 様々な理由から国立地域で暮らしている外国人に向けて、公民館を拠点に日本語を学ぶ機会や交流の場を作る。

1992年より『くにたち地域国際交流会』が日本語談話室を開始、2001年に独立して『KUNIFA 日本語サポート』となった。ボランティアと外国人がほぼマンツーマンで学んでいる。

毎週火・水・木曜 11:30～12:30：公民館による『生活のための日本語講座』後の会話練習。

毎週土曜 10:00～11:30：独自に日本語教室を開催。

**現在の課題** ● 活動の核として日本語学習があるが、参加者が多様であるため、それぞれの希望に沿った支援を行うには学校や市役所などの情報交換が必要だが、現状スムーズには行えていない。

コロナ後、学習者が減少し、現在は少しずつ回復傾向ではあるが元に戻るにはまだ努力が必要である。

**地域連携** ● 公民館日本語サロン／一橋大学／KUNIBO（国立地域外国人の防災連絡会）

### くにたち国際友好会 WING

所在地 ● 国立市富士見台 4-41-1

代表 ● 西江勇二

Facebook ● <https://www.facebook.com/KunitachiWing/>

メールアドレス ● kunitachi.wing@gmail.com



**活動の目的や概要** ● 国立周辺に学ぶ留学生・在住の外国人と地域住民との国際交流を図り、お互いに異文化を学び、文化の相違を介して、友情と信頼関係を醸成し世界の平和に貢献することを目的とする。毎月1回、国立市公民館に外国人講師を招いて「国際理解講座」を対面とZoom併用で開催するほか、異文化コミュニケーションや外国人留学生と地域の子どもたちとの交流イベントなどを開催。

**現在の課題** ● コロナ禍で一橋大学の留学生が途絶えたため、講師の依頼をさまざまなネットワークを通じて外部に開拓してきた。コロナ禍も収まり留学生も戻ってきているので、新たな留学生ネットワークを開拓する。また、活動費の資金がわずかな会費収入だけであるため、資金面での課題も。

**国立市への要望** ● 一橋大学との交流が円滑になるように、国立市が架け橋になってほしい。また、国立市公民館のWi-Fi通信環境の改善、老朽化した小型プロジェクタの更新を希望。さらに、可能であれば補助金等での支援を希望。

**地域の連携団体** ●

くにたち地域コラボ／棕櫚亭／まほうのランプ／KUNIBO／高齢社会を支える地域の絆づくりの会／国立市公民館／World Cleanup Day Japan くにたち支部／ひらや照らす 他

## 人権擁護・社会教育 ● 2 団体

### NPO 法人アサーティブジャパン

所在地 ● 国分寺市光町 1-38-2-301

代表 ● 森田汐生

認証年月日 ● 2004 年 4 月 13 日

公式サイト ● <https://www.assertive.org/>

活動分野 ● 保健・医療・福祉／社会教育／まちづくり／学術・文化・芸術・スポーツ／環境の保全／人権・平和／国際協力／男女平等参画社会／子どもの健全育成／職業能力・雇用機会／消費者の保護／連絡・助言・援助



活動の目的・概要 ● 「アサーティブ」とは、自分の意見や提案を、相手の価値観や気持ちを尊重しながら、誠実に、率直に、そして対等に表現する考え方である。一人ひとりのコミュニケーション能力の向上を目指すことが、対話を土台とした暴力のない社会の実現、国籍、人種、性別などの違いによって人権が損なわれることのない社会の実現、メンタルヘルスの向上、ハラスメントのない組織を作ることにも貢献できると考え、「アサーティブ」に関する研修を、自治体や企業、学校、福祉の現場など全国各地で実施している。

背景としては、デジタルコミュニケーションの発展や、コロナ禍でのリモートワーク、リモート授業の普及などで人間関係が希薄化し、コミュニケーションがますます難しくなりつつあること、また多くのコミュニティで多様性を受け入れるべき時代において、アサーティブの必要性はますます高まっていると考える。

#### 現在の課題 ●

- ・ 国立市でも、学校教育の中に「コミュニケーション実践」を取り入れて、多様性というテーマでのコミュニケーション演習の場が増えると良いと思う。
- ・ 若い世代へのアサーティブの周知と、若い世代のアサーティブトレーナーを増やしたい。

### NPO 法人 シングルマザーズシスターフッド

所在地 ● 国立市東 1-15-11 448 ビル 3F

代表 ● 吉岡マコ

認証年月日 ● 2021 年 4 月 9 日

公式サイト ● <https://www.singlemomssisterhood.org/>

活動分野 ● 保健・医療・福祉／社会教育／人権・平和／男女平等参画社会／子どもの健全育成／職業能力・雇用機会／連絡・助言・援助



活動の目的 ● 広く一般市民に対して、家族の多様性や生き方の多様性を尊重することの大切さを啓発するとともに、ひとり親の女性（戸籍上の性別にかかわらず性自認が女性であるひとり親を含む）に向けた心身のセルフケアの講座や女性のエンパワメントのプログラム、支援者向けの研修プログラムを開発・研究・普及し、家族のあり方や生き方がますます多様化する現代において、困難な状況に陥りやすいひとり親の女性が、本来持つ力を発揮して、活いきと暮らししていけること、その結果として、ひとり親家庭の子どもも社会から暖かく見守られながら健やかに育つこと、多様性が尊重され一人ひとりが自分らしく活いきと暮らしいける社会づくりに寄与することを目的とする。

活動の概要 ● シングルマザーのセルフケアの普及として、全国からオンラインで参加できる『シングルマザーのセルフケア講座』を定期開催。参加費は無料。ストレッチと瞑想で心身を整える。

また調査研究では、シングルマザーの心と体の健康についての調査結果とその解決策をまとめた『ひとり親けんこう白書』をさまざまな自治体の窓口や男女共同参画センターで配布している。さらにシングルマザーがエッセイを執筆・発表し、家族や生き方の多様性を啓発するとともに、団体の活動への応援の寄付を募集するキャンペーンを毎年 5 月（Mother's Day キャンペーン）、12 月（寄付月間キャンペーン）に開催。



## 福祉・保健・医療 ● 24 団体

### 認定 NPO 法人 ジャパン・カインドネス協会

所在地 ● 国立市中 1-18-41 栄ビル 301

代表 ● 亀岡加奈枝

認証年月日 ● 2003 年 5 月 1 日

公式サイト ● <https://www.jkkyoukai.com>

活動の目的 ● 活動を通して日本の寄付文化の裾野を広げる一端を担う。

#### 活動内容 ●

- ① 寄付型自動販売機『ゆび募金』
- ② 食品ロス削減 / 食品を必要とする施設・個人支援『フードバンク JK』
- ③ シニアの健康を守る『いい加減体操教室』
- ④ 協会のオリジナル基金『JAPAN こども基金』
- ⑤ 『全国被災地支援基金』

現在の課題 ● 活動継続の為、安定した運営資金の確保

### NPO 法人 アビリティクラブたすけあい くにたちすてつき

所在地 ● 国立市中 3-5-60 カサムシカ 1F

代表 ● 國井定子

認証年月日 ● 2001 年 5 月 22 日

公式サイト ● <http://kunitachisutekki.web.fc2.com>

活動分野 ● 保健・医療・福祉 / まちづくり / 男女平等参画社会 / 子どもの健全育成 / 情報化社会 / 連絡・助言・援助

活動の目的 ● 市民によるたすけあいの理念に基づき、赤ちゃんからお年寄りまで生活の支援を必要とする人々に対し、保育・家事・介助・介護等の支援を行うほか、実態から見えてくる問題の調査、学習、政策提案等の活動を行い、地域福祉の促進と市民自治によるまちづくりに寄与することを目的とする。

#### 活動の概要 ●

- ① アビリティクラブたすけあい：会員同士の助け合い（年会費 3000 円）として、
  - ・ 掃除、洗濯、食事作り。買い物などの家事援助
  - ・ 身体介護や通院、見守りなどの介護、
  - ・ 保育や通園通学の送迎など子育て、その他
- ② 訪問介護など介護保険サービス
- ③ 障がい者自立支援法に基づく居宅介護などのサービス
- ④ 国立市委託事業（ひとり親家庭ホームヘルプ、移動支援など）
- ⑤ 地域活動：地域のつどい（年に 1 度開催）、会員のつどい ほっとサロン（第 1 土曜『ひらや照らす』にて開催）
- ⑥ チーム活動：イベント、研修、メンバー募集推進、対価検討、親睦会

現在の課題 ● メンバー不足。活動に興味ある方募集中。資格のない方でも資格取得を支援する制度あり。

地域連携 ● 生活クラブ運動グループ（国立市地域協議会） / ひらやの里（ひらや照らす運営に関わる）

## NPO 法人 国立フィジオ研究所

所在地 ● 国立市東 1-15-18 白野ビル 1F B

代表 ● 城下貴司

認証年月日 ● 2015 年 9 月 17 日

公式サイト ● <https://www.kunitachiphysio.com/home>

活動分野 ● 保健・医療・福祉／社会教育／職業能力・雇用機会／連絡・助言・援助

活動の目的 ● 広く一般市民に対して、リハビリテーション、健康の維持・増進、予防医学を目的とした運動、指導等とそれらを根拠とする学術活動を行う。

さらに理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリテーション専門職に対する教育、指導及び事業相談を行う。すなわち臨床、教育、研究の推進を図り、広く公益に寄与することを目的とする。



活動の概要 ● リハビリ専門家による本格的な予防医療を医学論文に基づいて展開している。

会員になると、ピラティスマシーン、ウエイトトレーニングマシーンが無償で利用できる。

使い方やプログラムはリハビリ専門家が個別作成し、定期的に内容を更新している。

## NPO 法人 くにたち夢ファーム

所在地 ● 国立市富士見台 4-17-1, 15-107

代表 ● 山本米子

認証年月日 ● 2015 年 6 月 4 日

公式サイト ● <https://www.jikka-yume.com/>

活動分野 ● 保健・医療・福祉／社会教育／まちづくり／地域安全／人権擁護・平和／国際協力／男女共同参画／子どもの健全育成／経済活性化／職能開発・雇用拡充／NPO 支援



活動の目的 ● 生活困窮にある人達に自立支援のための機会を提供することを活動目的とする。

### 活動の概要 ●

・元々は責任者の遠藤が行政でDV（ドメスティックバイオレンス）被害者支援の女性相談員をしていた。なかなか行政の立場だと、聞くだけで終わってしまう場合や、案内するだけになってしまう事が多かった。シェルターは案内できるのだが、DV、虐待を受けている方はすぐに動けない。そこに伴走する必要性を感じ、WAMの助成金600万円をいただき、事業をスタートさせた。

・DV被害者の暮らしをサポートしていると、様々な一面がみえてくる。1つ例を上げると、彼女たちは買い物ができない事が多かったりする。意外に思われる方も多いかもしれないが、彼女たちは今まで「自分で決める」という事を許されなかった。選ぶという事がない。何が欲しいと聞かれた試しがない。暴力と引き換えに、選ばない生活がある。私達はその「決めていくプロセス」にいちいち付き合う。それは生活を共にしないとわからない事であり、そこを理解しないとけない。

・精神病院から、グループホームも嫌だとなって、来る人が多い。精神疾患の問題はほとんど家庭から来る。家庭は密室で、しわ寄せが女性に行く。彼女らは居場所がなく、「家の中でのホームレス」である。

・シェルターは家庭という密室から、シェルターという密室へ移動しているだけである。DV防止法は「被害者を隠して遠くに逃がす」という考え方で、暴力自体を取り締まらないところに課題がある。郊外に住んだら、孤立する。日常の延長線上に支援がないといけない。

・「Jikka = いつでもかえられる場所」という意味でつけた。2001年からDV防止法ができ、今まではDVが自己責任で

まかり通ってきたが、ようやく形になった。しかしながら、子どもの事など考えると、逃げたいけど逃げられないという状況もあり、2～3日考える場所が必要であると感じた。そこで一時避難をする実家のような、いつでも帰れる場所を作った。

- ・特徴としては、シェルター活動をしているにも関わらず、オープンにしている事である。加害者はオープンにしているから、逆に来れない。自分がDV夫だと思われるから。この形態をとっているのは、全国でも珍しいと思う。
- ・シェルターは閉じれば閉じるほど危険である。女性は我慢するのではなく、対峙できる人になってほしい。
- ・2021年5月からURと提携し、居住支援事業も展開している。

**現在の課題**●市の委託事業（女性パーソナルサポート事業）にしてもらったが、職員を置く予算がない。みえないところにお金がかかり、運営資金はみんな持ち出しでやっているとるところもあるので、予算をたてることが必要。昨年成立した女性支援法に期待したい。

**国立市への要望**●国立市は女性相談員が4人もいる、他の自治体と比べても進んでおり、全国に先駆けて、先駆的な事業をこれからも進めてほしい。

**地域連携**●たまぶらネット／ふっくりー／国立市役所（保護課、女性支援係等）／子ども家庭支援センター／児童相談所／精神科医／弁護士 他

## NPO 法人 国立ルピナス

**所在地**●国立市西 2-20-10 第2村上ビル 2F

**代表**●理事長 高村哲夫

**認証年月日**●2006年9月25日

**公式サイト**●[www.kunitachi-lupinus.or.jp](http://www.kunitachi-lupinus.or.jp)

**活動分野**●障害者福祉

**活動の目的**●障害を持つ人（大人も子供も）に社会的自立を目指せるよう、労働の場を提供し、生活支援等を行い、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

### 活動の概要

- ・知的障害の子供を持つ親（手をつなぐ親の会の会員）が中心となって、学校卒業後の活動の場、放課後の活動の場として作った福祉作業所が始まり。2006年10月に3つの事業所が一つのNPO法人としてまとめ活動を開始した。障害のある人が地域の中で充実した生活を過ごせるよう活動を続けている。
- ・うめの木作業所（就労継続支援B型25名・生活介護10名）：お菓子や食品の袋詰め、ダイレクトメールの封入、ミニコミ誌への広報チラシの差し込み、自治体広報誌の丁合作業等の軽作業を通し、働くことの大切さや喜び、仲間への思いやりといった気持ちを育てる支援をしている。
- ・カタバミ作業所（生活介護20名）：商品のタグ付け、革製品の加工等の室内作業の他、ポスティングや歩道清掃、買い物などに仲間とともに楽しく地域の中で活動することを通し、日常生活、社会生活の維持向上を支援している。
- ・ハイビスカス（放課後等ディサービス）：利用対象者は小学生から高校生まで。放課後の余暇時間、創作活動、畑作業等の活動を通し心豊かに地域の中で過ごせるよう支援している。

### 現在の課題

- ・うめの木作業所、カタバミ作業所の利用者、家族の高齢化等に伴い、地域での生活を継続していくために、障害福祉サービス以外にも介護保険のサービスや地域包括支援センター等の関係機関や事業所との連携が必要となってきている。
- ・コロナ禍の影響もあり、作業所の受注作業の量が減ってしまっている。
- ・ハイビスカスではその年により高校を卒業する人数が違うため、安定した定員確保が難しい。
- ・利用者が安心して地域で暮らせるよう、ボランティアなどにも活動に加わってもらえるとよいと考えているが、なかなか事業所を知ってもらう機会を作ることも難しい。

地域連携●国立市役所や市内の企業等からの作業受注など。

## NPO 法人 子育て支援事業団あじさい園

所在地●国立市富士見台 4-10-6 アクトS国立ビル 202 号室

代表●尹 明秀（平原明秀）

認証年月日●2016年3月22日

公式サイト●<https://ajisai-en.net/>

活動分野●男女共同参画／子どもの健全育成／NPO 支援



活動の目的●広く一般市民を対象として、乳児からの保育及び道徳教育等の子育て支援事業並びに地域コミュニティの推進事業を行い、子供をもつ親が、安心して子供を預け、働きながら社会貢献と自己実現を果たせる社会の具現化と、女性の社会進出促進の一助になるとともに、待機児童問題の解消及び少子化問題の解決に寄与することを目的とする。

活動の概要●「保育園落ちた日本死ね」が流行語大賞になった年、待機児童が多かったのがきっかけで、元々『ユナイテッドコーポレーション』という会社を運営していた理事長が NPO 法人を立ち上げ、7 年経った。国立市では唯一の小規模保育事業所である。

### 現在の課題●

- ・初めてこどもを授かった親の不安を解消するイベント等をやっていききたい。
- ・当園の特徴として「モンテッソーリ教育」があるが、その可能性を広げていきたい。小規模保育事業所だからできるノウハウがある。
- ・保護者がポジティブで楽しく暮らすことが、子どもにとって良い影響が出るので、そのような保護者を元気にしていく取り組みをしていきたい。

### 国立市への要望●

- ・小学生の育児体験等のボランティアを取りまとめてほしい。中高生は来てもらっている。
- ・園を卒業する際に引き継ぎ書のようなものがあれば良いが、個人情報の関係でなかなか園独自では作れないため、作ってほしい。

地域連携●私立の園長会／医療法人社団つくし会（グループホームやがわ、看護介護多機能センター オリーブ）／西保育園／矢川保育園／くにたちはたけんぼ



## NPO 法人 在宅ケアを支えあう会

所在地 ● 国立市谷保 4-27-32

代表 ● 殿岡登代

認証年月日 ● 2006年5月1日

活動分野 ● 保健・医療・福祉／社会教育

**活動の目的** ● 一般市民を対象とし、自分の住む地域、家で療養したい高齢者・小児・難病・身体障害・精神障害などの患者および家族に、看護・介護・相談・研修を行い地域で患者や家族を支えあう社会の実現に寄与することを目的とする

**活動の概要** ● 国立市谷保で、看護師などを中心に訪問看護『ほっとステーション』を運営。

自宅で療養生活を送っていて看護や介護の必要な方を対象に、ライフスタイルを尊重しQOL（生活の質）が向上できるよう、予防支援から看取りまで支える。

状況に応じて、人工呼吸器装置の方や難病等医療依存度の高い方への訪問も多くなる。本人だけでなく、家族の相談、助言など含め療養生活を一緒に考えていく。

月曜～金曜の9:00～18:00、原則として週に3回まで。1回30～90分。病状の観察・健康管理（体温・脈拍・血圧測定など）から、医療機器・カテーテル類の維持管理、清潔の援助（清拭・洗髪・入浴介助）、食事・排泄の介助（必要時に浣腸など）、リハビリまで。

## NPO 法人 燦（さん）～福祉作業所天成舎～

所在地 ● 国立市富士見台 3-33-22

代表 ● 本田勝亮

認証年月日 ● 2009年11月20日

公式サイト ● <https://sun-shine.or.jp/>

活動分野 ● 保健・医療・福祉／学術・文化・芸術・スポーツ／  
人権擁護・平和



**活動の目的** ● 障害児者や高齢者及びその家族、並びに地域住民に対して、自立と社会参加、生活支援、介助や介護サービス、権利の擁護に関する事業と創造的なネットワークづくりを行い、福祉の充実増進とともに、芸術文化平和運動の推進に寄与することを目的とする。

**活動の概要** ●

- ・1990年から始めて、2003年に法人化した。『燦』という名前の由来は「燦燦と輝く」という意味での燦。
- ・就労継続支援B型の福祉作業所をメインの活動としている。B型でも対応できない方に対して、生活介護と、府中市内ではグループホーム、児童発達支援・放課後等デイサービスも行っている。
- ・ペットボトルのキャップをリサイクル業者に売り、その半方を給料、半方を寄付にまわしている。そのドナーツアーで、ミャンマーやブータン、ラオス等に利用者と一緒にいくことも。現地では「障がいのある方がこんなに働いているのか」といつも感心・感謝される。働いている利用者が誇りを持って帰ってくる。いつもは比較的「支援を受けている」という立場の人が「支援をする」ことでの喜びを体感することができるので、現地に行く事には意味がある。
- ・そのほか、紙袋作成、点字の作業、大学通りの花壇の清掃（国立市からの委託）等の業務がある。

**現在の課題** ●

- ・コロナで製紙業・印刷業の仕事がかなり減ってしまった。
- ・毎日事業所と家の往復をしている利用者さんが、ヘルパーさんと一緒にどこかに行くという体験をしてほしいが、地域

の事業所にヘルパーが少ないという問題がある。

・利用者が高齢化しており、70歳になった方の生活等も見なければいけない。1/3がグループホームから来ている。

#### 国立市への要望●

・国立市にはいつも感謝している。福祉には優しい町。「国立市はいいね」とよく他の自治体から言われる。障害福祉サービスが素晴らしい。障害者スポーツセンターもある。

・ふれあいスポーツのつどいを五小でやっていた（市役所、社協主催）ので、その復活をしてほしい。

・以前、市役所でネットワーク事業を構築したいという事で、1回だけ会議を実施したことがある。その会議で目指していたのは、大口作業の案件が来た場合に、それぞれの作業所に割り振って形にしていくというスキーム。またその会議をやってもらいたい。

地域連携●NPO法人 国立ルピナス/国立市（障害福祉課、高齢者支援課、環境整備課、社協）

## NPO 法人 すずらん

所在地●国立市富士見台 4-45-19

代表●高橋 力

認証年月日●2000年6月1日

公式サイト●<https://suzuran-kunitachi.or.jp/>

活動分野●保健・医療・福祉/学術・文化・芸術・スポーツ/人権・平和

活動の目的●（高齢者、障害者、精神障害者）に対して介護に関する支援事業と配食事業を行い地域福祉に寄与することを目的とする。

活動の概要●1987年より地域のSOSで配食サービスをスタート（家庭料理研究所）。1990年国立市食事サービスを受託。お届けする中で外出の機会が少ない方達が目にとまり、1996年より『デイサービスふれあいの広場』を開設。介護保険スタートに合わせ2000年6月特定非営利活動法人すずらんとして認証を受ける。2005年現在の矢川に拠点を移す。2013年更に地域に根付いたサービスを目指し、『食と花のすずらんデイサービス』を開設。現在に至る。

現在の課題●担い手の高齢化と慢性的な人員不足。

地域連携●地域の草の根活動の担い手として、お話しがあれば可能な限り連携していきたい。

## NPO 法人 対話ラボ - こころ・そだち・コミュニケーションの相談室

所在地●渋谷区恵比寿 2-28-10

代表●田代 順

認証年月日●2023年9月5日

公式サイト●<https://taiwalab23.com/>

活動分野●保健・医療・福祉/子どもの健全育成/NPO支援

活動の目的●子どもを含む一般市民及び地域社会に対して、家族療法由来のナラティブ・アプローチに基づき、メンタルヘルス/ソーシャルワーク/カウンセリングの専門家が、人と人が関係を重ねる時に必須のコミュニケーション手段である「対話」に注目して、広義の「こころ」の問題に向き合い、対応し、研究を展開して、人々のメンタルヘルスの向上と社会的啓蒙促進に寄与する事を目的とする。

## NPO 法人 多摩在宅支援センター円（えん）

所在地●国立市富士見台 1-25-21 櫻の杜ハウス 205 号室

代表●中嶋康子

認証年月日●2005 年 5 月 26 日

公式サイト●<https://zaitakuen.or.jp/>

活動分野●保健・医療・福祉／まちづくり／NPO 支援



**活動の目的**●広く一般市民を対象とし、特に在宅での支援を必要とする傷病者・障がい者や高齢者に対して、共同生活援助事業や相談事業等に関する事業を行い、その人の生活をより豊かにすることや住みやすい地域作りに寄与することを目的とする。

共同生活援助事業・通所事業（生活訓練・生活介護）・ショートステイ事業等

### 活動の概要●

- ・2005 年 6 月に八王子で創業し、立川、国立に移ってきた。創業当時から訪問看護・精神分野の福祉に携わっていた。福祉と医療の溝があり、連携が取れていないという課題に対し、そこを埋めていきたいという思いで訪問看護を始めた。
- ・円の由来としては、縁をつくる、まるくネットワークをつくるという意味もある。グループの訪問看護の事業所名は「ん」がつく。元（げん）、音（おん）、鈴（りん）等。
- ・精神障がい者の訪問看護をやっているところは当時少なく、認知が全くされていない時代であった。病院やご家庭では訪問看護の理解がなかったので一から説明したり、医師の指示書の書き方に関してわからないというので一緒に調べたり等、手探りでやってきた。色々あったものの、需要は確実にあったので広がっていった。
- ・精神障がい者の訪問看護では支援に限界があるので、グループホームを立ち上げた。八王子は精神科が多かったこともあり、需要があった。その後株式会社を立ち上げ訪問看護事業はそちらに移した。
- ・家庭に入ると様々な課題が見えてくる。その解決を図るべく、生活訓練事業も立ち上げた。その後生活訓練＋B 型の多機能訓練事業所を作ったが、制度と法律が変わったので、B 型は閉じて、生活介護の多機能訓練事業所を作った。

### 現在の課題●

- ・支援の質を高めていくために、人材育成をどのようにしていくかは常に課題としてある。
- ・地域とどうつながっていくか。グループホームから出た後の部屋探しの時等に困る場合がある。
- ・精神障がいのある方は外の世界とシャットアウトしがちであるので、そこを繋げていく事は必要だと感じている。

### 国立市への要望●

- ・国立市はきめ細やかに対応してもらっているので助かっている。
- ・国立市に限定されたことではないが、どの行政でも縦割りの問題はあつた。母個人や子供個人で別の担当部署が対応していたりするが、世帯全体の問題として扱わないと進まないケースもある。例えば母と子どもと一緒にショートステイに入ることができない等がある。親子ショートステイは需要があると思う。

**地域連携**●たまプラネット“わ”／多摩棕櫚亭協会／「地域ネットワークたま」という集まりがあり、地域の情報共有や相談・イベントの企画・開催を行っている。

## NPO 法人 東京自立支援センター

所在地●国立市富士見台 4-11-7-101

代表●理事長 高森 知

認証年月日●2010年12月14日

公式サイト●<https://www.tokyo-tomony.org/>

活動分野●保健、医療又は福祉の増進を図る活動、社会教育の推進を図る活動、まちづくりの推進を図る活動、経済活動の活性化を図る活動、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動、前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動



活動の目的●障がい者の自立（自律）支援を行う事で共生社会を実現することを目的としている。そのために、障害があるということだけで、

働く能力があるにもかかわらず本人たちに適した訓練を行う場所が少ないために、就労する場所や能力を発揮することができない人たちに対して、就労するための訓練や就労先を確保する事業を行い、障害を持つ人たちの自立と社会参加の支援。地域住民との交流に寄与する。

活動の概要●循環を意識した複数の事業を実施している。就労継続支援 A 型『ともにー』『ステップアップともにー』だけではなく、就労継続支援 B 型『ともにードリーム』、就労移行支援事業所『ポートビズ』などを通じて、職業訓練や社会で生きるための訓練を施し、一般就労につなげられるよう支援し、当法人の循環の仕組みの中で様々な形での就労にトライすることが可能。他にも、放課後等デイサービス『スマイルともにー1・2』、指定特定相談事業所『ともにーサポート』、共同生活援助（グループホーム）『ともにーホーム』、短期入所生活介護（ショートステイ）『ともにールポ』等を運営している。

現在の課題●人材確保及びそのための効果的な広報活動／自社工場の設置

国立市への要望●清掃の請負があると有難い。剪定等の事業を委託していただきたい。

地域連携●国立市／国立市社会福祉協議会／NHK 学園高等学校／YMCA 医療福祉専門学校／大妻女子大学 等

## NPO 法人 福祉サポートライン・くにたち

所在地●国立市中 1-18-35

代表●高木佳子

認証年月日●2007年4月10日

公式サイト●<http://cil-kunitachi.com/index.html>

活動分野●保健・医療・福祉／社会教育／まちづくり／人権擁護・平和



活動の目的●しょうがいをもつ当事者自身が主体者となりサービ

ス提供していく団体であり、相談支援事業、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業などを行い、しょうがいをもつ人が地域でその人らしく自立した生活を作り上げていけるよう支援することで、しょうがいをもつ人が当たり前で暮らせる地域社会づくりに寄与することを目的とする。

活動の概要●

- ・自立生活センターと、福祉サポートラインという主に2つの事業を行っている。
- ・自立生活センターは全国に120弱ある。障がいのある方が親元を離れて一人暮らしをするとき等のサポートをしている。



- ・福祉サポートラインは、国立市で障がいのある方が生活していく上で、困った事やわからない事を、同じく障がいがあり、地域で暮らしているピアカウンセラーが相談を受けるという事業で、国立市からの委託事業である。
- ・最初は有志が集まって始めた。今の代表が4代目となる。2000年に市からの委託が始まった。
- ・自立生活センターは51%が当事者じゃないと運営できない。「自分たちが自分たちの事を決める」というこの考え方は、もともと1970年代にカリフォルニアのパークレーから始まった。その方たちが日本に来て講演会を開いた。今までの障がい者運動は物を要求する運動だけであったのに対し、「自分たちが自分たちでサービスを作れる」「自分たちの経験を活かしたことが事業になる」ことが、目からうろこだった。
- ・その流れで、八王子で日本初めての自立生活センターができた。ダスキン（ミスタードーナツ）の留学の制度から始まった。仲間同士でサポートし合えるのに加えて、それが事業になり、社会的にも位置付けられるというこのスキームで、今も活動している。

#### 現在の課題●

- ・障がい当事者職員の後継者不足はある。どこのセンターでもあるようだが、地域に住んでいる障がい者の暮らし方が多様性に満ちてきた事が原因としてある。大学卒業して、障がい者枠で企業に勤める事ができるようになってきた。それに加えて、私たちは「国立市で一人暮らしする」という制度が整うところまではお手伝いできるが、日々の生活の彩りのところまで手が届いていない。他に活動できる場所、ここに遊びに行ってみたらという情報が少ないので、そのあたりが課題になる。
- ・地域でのネットワークはやはり重要。災害等も、「あそこに車いすの人が多いよね」といったような支援ができる。社協のCSWとはあまり関わっていない。利用者は関わっている話は聞く。

**国立市への要望●** コロナでヘルパー派遣ができなくなった場合、代わりに行ける人を行政が担保できるようなシステムが欲しい。私たちにとってはヘルパーさんが来ないという事は、死活問題になる事もある。

**地域連携●** 市内のヘルパー派遣事業所／相談支援事業所／自立支援協議会のメンバー／くにたち NAVI のバリアフリー情報

## NPO 法人 フードバンクくにたち

**所在地●** 国立市谷保 6179

**代表●** 蓬田俊子

**認証年月日●** 2023年8月31日

**公式サイト●** <https://foodbank-kunitachi.org/>

**メールアドレス●** [info@foodbank-kunitachi.org](mailto:info@foodbank-kunitachi.org)

**活動分野●** 保健・医療・福祉／社会教育／環境の保全／子どもの健全育成／消費者の保護



**活動の目的●** 広く一般市民を対象として、市場に出すことはできないが、消費するには十分に安全な規格外や賞味期限の迫った食品、役割を終えた災害備蓄用食料品等を団体、企業や商店、農家、個人などから提供してもらい、それらを必要としている生活困窮者や家庭、福祉および児童施設や学校、子ども食堂などに届ける地域密着のフードバンクシステムを構築するとともに、食の分かち合いを食品ロス削減や生活困窮者の問題等として提起し、地域に発信することを通して共に支え合う心豊かな地域社会を創ることを目的とする。

**活動の内容●** 備蓄の役割を解かれた災害用備蓄食品を譲り受け、こども食堂、児童館、老健、親子の居場所、高齢者フレイル予防体操の集まり、防災訓練、福祉館でのイベント、市民まつり、無料塾などで無料配布を行っている。また希望の各ご家庭へ食品のお届けを行っている。

食品ロス削減のための啓蒙活動、生活困窮家庭への食支援。

**現在の課題●** 資金不足（個人負担、個人の持ち出しで運営）

### 国立市への要望●

- ①食品の受け入れ量が、3～6トン/月に達している。これも市民の個人の負担で、市内複数個所に保管している。安全に食品を保管できる場所が欲しい。
- ②食に関連し、プロ仕様のキッチンがあり、カフェスペース、保管倉庫が隣接する場所が欲しい。
- ③駅前の利便性の良い場所に、24時間食品を取りにこられる場所を設置し、誰もが食品を受取りやすい環境を整えられたらと思っている。

### 地域連携●

- ①銀星交通尙と連携し、宅配機能を充実させている。
- ②ボランティアスタッフを広く募集し、様々な作業に協力していただいている。
- ③東都生協協同組合と連携し、フードドライブを実施。各ご家庭へ食品を届けている。

## NPO 法人 ワンステップかたつむり国立

所在地●国立市富士見台 1-41-15 マンション辰巳 1F  
代表●三井絹子  
認証年月日●2020年10月12日  
公式サイト●<https://ktm1-step.jimdofree.com/>  
活動分野●保健・医療・福祉／人権擁護・平和／NPO 支援



活動目的●地域で重度のしょうがいを持つ人々の日常生活および社会参加の自立を支援するとともに、しょうがい当事者が主体となって、地域行事への参加や講演会、体験会等のしょうがいしゃ福祉に関する普及・啓発事業及びしょうがいしゃに関する相談事業を通して、重度しょうがいしゃの理解促進と差別解消のための普及・啓発に努めることで、重度しょうがい当事者が、地域で当たり前で生かされる社会を実現することを目的とする。

### 活動の概要●

- ・講演活動、劇の公演を通じた啓発活動 ・自立生活の練習 ・しょうがいしゃの相談受付
- ・ややこし家での地域交流 ・祭り等への参加

現在の課題●最も大きな課題は人手不足で、現在、介護者を大募集中。資格がなくても、国立市の『地域参加型サポート事業』を使って介護ができるので、興味のある方はぜひ(042-505-6533)までご連絡を。

地域連携●谷保北口商店会、国立市商工会に加盟

国立市への要望●劇をやっているしょうがいしゃ団体が使える補助金を増やしてほしい。早急に介護の人手不足を解消してほしい。

## 一般社団法人 POC

所在地●国立市東 2-2-11 ニューホープ 102  
代表●酒井冨輝  
設立年月日●2022年2月7日  
公式サイト●<https://www.poc-ippansyadan.com>  
活動内容●

- ・手話学童【POC HOUSE】：耳が「聞こえる子」も「聞こえない子」もともに遊び、学び、成長できる新たな居場所。「手話教室」×「学童保育」



- ・学習塾【POC STUDY】：手話が必要な子にも、学習が遅れがちの子にも、伸び伸びと学習できる環境。オンラインの1対1の個別学習で、様々なニーズの子に対応している。
- ・手話学習教材【POC SIGN】：手話を動画で学べる学習システムのサイト。HP 改修中。

**現在の課題** ●耳が「聞こえる人」と「聞こえない人」も同じ世界に存在するのに、大きな境界線のような壁がある。「聞こえないからどうせ相手に伝わらない」「手話は分からないから話せない」など相手と関わることを諦める理由を探している人がいると感じる。そんなバリアを壊すためには相手を知り、関わるのが大切ではないか。耳が「聞こえる人」も「聞こえない人」もともに関わる架け橋になりたいと活動しているが、地域との連携はまだ少ない。

**国立市への要望** ●手話言語条例も制定された国立市。手話や聴覚障がいについて知ってもらえるような活動を、ぜひ一緒にできないか。地域の団体や小中高等学校等で、講演会などができたら嬉しい。

## 社会福祉法人 滝乃川学園

**所在地** ●国立市矢川3-16-1

**代表** ●理事長 石井慈典

**認証年** ●1952年

**公式サイト** ●<https://www.takinogawagakuen.jp/>



**活動の概要** ●日本初の知的障がい児者のための福祉施設。知的障がい児者のための教育に生涯をかけて尽力した、石井亮一・筆子夫妻が立ち上げた。夫妻が明治31年の渡米の際に訪れた、ペンシルベニア州アーウィン知的障害児学校の地形に似ている現在の敷地を気に入り、昭和3年に豊島区巣鴨より国立市に移転。児童部（障害児入所施設）、成人部（障害者支援施設）、地域支援部（相談、ヘルパー派遣、レスパイト、放課後等デイサービス）、グループホーム部（障害者、認知症高齢者）等幼児から高齢者まで幅広い福祉事業を展開。緑豊かな敷地内では、毎月1回『滝乃川学園ガーデンプロジェクト』として、誰でも参加できる『ゆるゆるのお手入れ活動』が行われ、内外から多くのボランティアが参加している。

・国登録有形文化財『石井亮一・筆子記念館』、国立市登録文化財『聖三一礼拝堂』『天使のピアノ』『鐘楼』を敷地内に有する。

**現在の課題** ●ガーデンプロジェクトは、コロナ禍3年間では通常の活動を縮小して行っていたため、5類移行後も参加者が伸び悩んでいる。

**地域連携** ●2022年、国立市内の合同会社三画舎との協働でサイトや広報誌をリニューアル。(株)JR中央線コミュニティデザインの社員がガーデン活動に参加、同事業者が主催する『ものづくりのわ』を滝乃川学園で開催。

## 社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会

**所在地** ●国立市富士見台1-17-4

**代表** ●小林由美子

**公式サイト** ●<http://www.shuro.jp/>

**認証年** ●1987年に無認可の共同作業として活動を開始。1996年に社会福祉法人多摩棕櫚亭協会を設立。

**活動分野** ●精神障がい者の生活支援や就労支援



**活動の概要** ●1987年「多摩の精神科医療を変えよう」と共同作業所・棕櫚亭Ⅰを立ち上げた。

が組み合わさった空間。

1人でも多くの精神しょうがい者が住み慣れた地域で生き生きと生活する事を願い活動を続けて36年目。現在、4拠点で、生活相談や地域移行支援、さらには就労トレーニングから就労定着まで幅広い支援を行っている。

①『就労移行事業所ピアス』：お弁当配食や環境整備、パソコン入力などの事務補助作業、職場体験なども行う

『自立訓練事業所ピアス』：数種類の軽作業

『就労定着支援事業ピアス』：ピアスの卒業生に向けた就労定着支援

②『障害者就業・生活支援事業オープナー』：しょうがい者の方々への就職から定着までの支援を広域に行う。

③『地域活動支援センターⅠ型なびい』：障がいや病気に関する相談、日常生活にまつわる相談、必要な福祉サービスや制度利用の紹介・サービス等利用計画作成などを行う。

④『地域活動支援センターⅡ型棕櫚亭Ⅰ』：昼食作りや様々なプログラムを通し、棕櫚亭が大切にしてきた共同作業所としての活動を引き継いでいる。

**現在の課題**●組織継承後の新しい組織作りや事業展開。また、国立市内の関係機関の皆さんや市民の方々との繋がり直し。

**国立市への要望**●自立支援協議会等、地域の関係機関が繋がり議論する場をより活性化させ、地域課題の共有や解決につながる様にしていただけたらと思う。

**地域連携**●子ども食堂『おいしい時間』／国立公民館『ラボくにスタ（学習支援）』／国立社協の学習支援 など

## 国立五日制の会

**活動場所**●国立市内

**代表**●松元久美

**Facebook** ● <https://www.facebook.com/profile.php?id=100057305355253>

**活動の目的や概要**●学校五日制施行の1992年から、しょうがいのある人たちの地域活動への参加を目的として発足。地域のみんで楽しめる土曜日の余暇活動（音楽の広場、わいわいスポーツ、ハイキング、バーベキュー、海水浴など多岐に渡る）を提供している。令和5年度『障害者の生涯学習支援活動』に係る文部科学大臣表彰において「功労者」として表彰された。

## くにたち発達しょうがいを考える会「太陽と昴の会」

**所在地**●国立市

**代表**●鈴木弥生

**公式サイト**● <https://taiyosubarunokai.fc2.net/>

**メールアドレス**● [taiyosubarunokai@yahoo.co.jp](mailto:taiyosubarunokai@yahoo.co.jp)

**活動の目的**●情報交換をしながら発達障害のことを考えていきたいと、2007年4月に発足。

**活動内容**●

・話したいテーマで集まっておしゃべり会《LINEグループもあります》

★ 幼児・小学生★ らっこ（愛の手帳をもつ）★ 中学生から成人★ 女の子★ イワナイクラブ（子どもに余計なことを言わないように親同士励ましあう）★ 不登校

・先輩ママの話 ・学習会（進路・就労・親亡き後・福祉サービスなど）





・楽しみの会《子どもの好きなことで集まる自主活動グループ》

★ みんなで収穫体験★ カートゲーム（ポケモン）

地域連携●自立支援協議会、しょうがいしゃ施策推進協議会 避難所運営委員会（福祉避難所 三小）

## くにたち地域ケア

活動場所●国立市内

代表●小出 聡

Facebook ● <https://www.facebook.com/kunitati.kaigo>

活動の目的や概要●子育て、介護など、地域社会にとって持続可能な地域ケアの在り方が問われている。地域の皆さまと一緒に集い・学び合い・語り合い、行動する場を作りたい。

現在の課題●ケアラー支援の推進

国立市への要望●ケアラー支援施策（ケアラー支援条例制定含む）の推進

地域連携●

- ・ひらやの里（『ひらや照らす』運営団体）／WorldCleanupDayJapan くにたち
- ・日本・エストニア友好協会くにたち支部



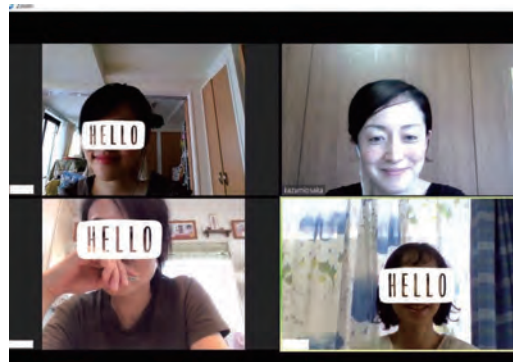
## 食物アレルギーサークル にこにこ

活動場所●国立市東

代表●大坂和美

Facebook ● <https://www.facebook.com/niconicoallergy/>

活動の概要●食物アレルギーを持つ子どもと親のサークル。不定期でのおしゃべり会開催のほか、アレルギーを含まないおやつ作りやその配布を通じた交流などを実施。また、子どもの食物アレルギーをきっかけに働き方や人生を見直すことになった親たちが人生相談をしたり、ライフプランを見直す際の気持ちの拠り所にもなっている。フェイスブックページ上での交流や、リアルやオンライン上での「おしゃべり会」を随時開催。※ 2023年現在、国立市での活動は休止中



地域連携●立川市、清瀬市でのピアサポート活動も実施

## なかよしコープ国立（旧・銀風工房）

所在地●国立市

代表●田中真理子

メールアドレス●marikotanaka114@gmail.com

### 活動の概要●

- ・フードパントリー：月2回。自分達の力でという形で会員制にして食料集荷から仕分けまで分担する
- ・アートクラス：全ての人に芸術は必要との考えをもとに音楽、美術を無料で月に1回体験できるクラスを開催

### 現在の課題●

フードパントリー：食品は主に浅草橋にあるセカンドハーベストジャパンから提供されるが、利用団体、参加希望者も増えている。利用者が厳しい条件や環境の中で連絡が途絶えたり、思いやりを持ってない精神状態に陥る時期もあるが、互いに理解し許しあい活動を続けていく。またこの活動を理解して支援してくれる方々、また公共機関とのつながりも模索中。

アートクラス：希望者が増えてこれ以上広げられない。

地域連携●国立市役所ふくふく窓口／国立市社会福祉協議会

## ママエステアシスト協会

所在地●市川市

代表●宮尾純子

設立●2005年7月

活動分野●健康／まちづくり

公式サイト●<https://www.facebook.com/mamaesthe.association/>

活動の目的●「手からつながる地域づくり」「言葉のいらないコミュニケーション」として、自律神経を整え脳の活性化につながるハンドケア（ハンドマッサージ）。人の手の温もりを通して、人と人、人と地域、人と企業が素敵な関係になって、健康で平和な世の中になるよう、地域づくりに寄与することを目的とする。



活動の概要●ママエステハンドケアは代表のオリジナル。府中療育センターのリハビリプログラムとして始まった。ハンドケア体験・講座・養成講座を実施してきた。国立市の障がい者センター『あすなろ』、『富士見台まちかどごぜん塾@プラムジャム』はじめ子育てサークル、高齢者施設、子ども家庭支援センター、地域包括センター、NPOや企業ほか地域のイベントで実施。

『ぎゅっとハンド講座』（市川市男女共同参画センター）は、コロナ禍で休止を余儀なくされた。

2023年現在、高齢者施設にて活動再開。

## くにたち地域コラボとは

国立市のNPOや市民活動をサポートする中間支援組織です。

富士見台の商店街の一角にある拠点「プラムジャム」を運営し、情報発信や各種相談、学習・研修会、交流・連携などを企画・実施しています。

地域のさまざまな課題に向き合って、何らかの活動を始めたい方、地域のつながりをより深めたい方、そして団体の方。協働の一步を始めませんか。会員募集中。



広報誌『プラムジャム通信』  
(年2回発行)

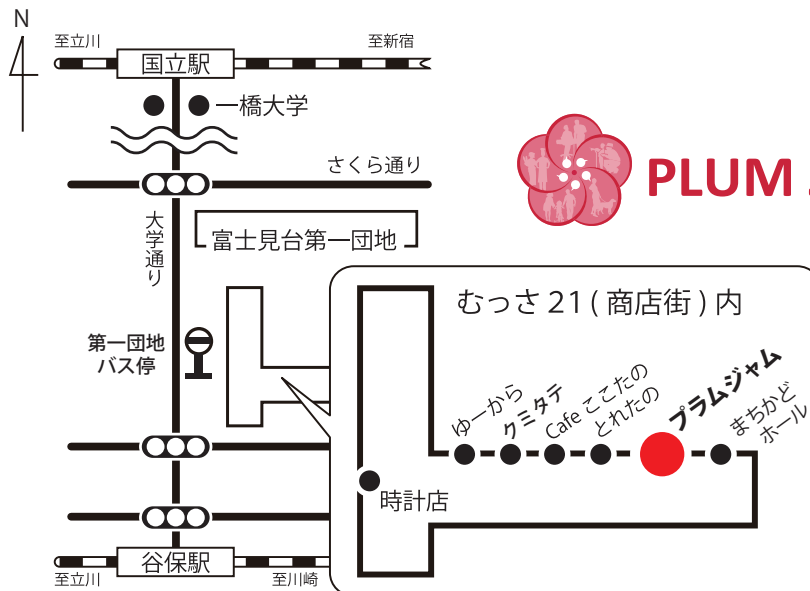
## プラムジャム くにたち地域活動支援室

事務局開室●月・火・木・金 13:00～17:00 (祝日を除く)

電話●042-573-1023

公式サイト●<https://www.kunitachicollab.com/>

メール●[info@kunitachicollab.com](mailto:info@kunitachicollab.com)



国立市富士見台1-7 富士見台第一団地1号棟1F

※本報告書に掲載している各団体の情報は 2023 年 11 月末時点のものです。

※各団体の紹介内容は、その団体の情報提供に従っています。同じ言葉でも団体により、漢字・かな表記が異なるものがあります。ご了承ください。

※今回の調査では、くにたち地域コラボの登録会員のうち主に地域貢献活動をおこなってきた団体、及び内閣府に NPO 法人（特定非営利活動法人）としての登録があり、かつ国立市内で活動している団体を対象として調査しました。この中から、調査にご協力をいただくことができた合計 93 団体を本報告書に掲載しています。

## 令和 5 年度 国立市 市民活動調査報告書

2024 年 3 月 発行

**発行** 国立市（生活環境部まちの振興課）  
〒186-8501 国立市富士見台 2-47-1  
042-576-2111（代）

**監修** 社会福祉法人 国立市社会福祉協議会  
〒186-8555 国立市富士見台 2-38-5  
くにたち福祉会館  
042-575-3226（代）

**制作・編集** くにたち地域コラボ

本書の全部または一部を無断で複製・転載・配信・送信することを禁止します。  
本書の内容を無断で改変・改ざん等を行うことも禁止します。

©kunitachi city 2024





国立市